

令和 6 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立研究開発法人国立がん研究センター
理事長 中釜 齊

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1-1
氏名	国立研究開発法人国立がん研究センター

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

3 所在の場所

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1-1
電話(03) 3542 - 2511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

- 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科		16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
- (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	病理診断科	3	緩和ケア内科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
				578	578

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	348.0	24.5	372.5	看護補助者	43.0	診療エックス線技師	0.0
歯科医師	2.0	1.5	3.5	理学療法士	6.0	臨床検査技師	84.0
薬剤師	70.0	0.0	70.0	作業療法士	2.0	衛生検査技師	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	視能訓練士	1.0	その他	0.0
助産師	0.0	0.0	0.0	義肢装具士	0.0	あん摩マッサージ指圧師	0.0
看護師	668.0	18.4	686.4	臨床工学士	14.0	医療社会事業従事者	8.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	栄養士	0.0	その他の技術員	85.0
歯科衛生士	4.0	0.4	4.4	歯科技工士	2.0	事務職員	217.0
管理栄養士	11.0	0.0	11.0	診療放射線技師	84.0	その他の職員	158.0

- 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	30	眼科専門医	2
外科専門医	58	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	2	放射線科専門医	26
小児科専門医	8	脳神経外科専門医	3
皮膚科専門医	2	整形外科専門医	8
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	10
産婦人科専門医	8	救急科専門医	1
		合計	174

- 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

(注) 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (瀬戸 泰之) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

令和元年4月より令和5年3月まで、特定機能病院である他院にて病院長を経験している。
令和6年4月以降は、当院の病院長として、医療事故等防止対策委員会委員長の業務に携わっている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外		歯科等		合計	
1日当たり平均入院患者数	507.7	人	0	人	507.7	人
1日当たり平均外来患者数	1,488.40	人	60.9	人	1,549.30	人
1日当たり平均調剤数	3,342.30					剤
必要医師数	135					人
必要歯科医師数	2					人
必要薬剤師数	17					人
必要(准)看護師数	303					人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	216.7 m ²	鉄骨構造	病床数	8 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	472.42	m ²	病床数	39 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	55.46			m ²
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	662.9 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、全自動免疫化学分析測定装置、全自動化学発光測定装置、生化学用自動分析装置、全自動薬物濃度測定装置、尿自動分析装置		
細菌検査室	161.04 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、血液培養自動分析装置		
病理検査室	490.59 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置、自動封入装置、密閉式自動固定包埋装置、対面作業用下降流プッシュプル型換気装置		
病理解剖室	142.15 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	ホルマリン作製装置		
研究室	38,936 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	遺伝子導入装置、ゲル撮影装置、画像診断装置、細胞解析装置		
講義室	887.03 m ²	鉄骨構造	室数	4 室	収容定員	50～300 人
図書室	376.64 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	9万 冊 程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		99.5	%	逆紹介率		90.8	%
算出根拠	A: 紹介患者の数					9,711	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数					8,860	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数					0	人
	D: 初診の患者の数					9,758	人

- 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 (注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
山本 修一	地域医療機能推進機構 理事 千葉大学大学院医学研究 院眼科学前教授 千葉大学医学部附属病 院前病院長	○	特定機能病院の前管理 者であり、医療に係る安 全管理に関する識見を有 する。	無	1
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病 院 医療安全担当副院長 ／医療安全管理部長		特定機能病院の医療安 全管理部門に所属し、医 療に係る安全管理に関 する識見を有する。	無	1
川崎 志保理	順天堂大学医学部 心臓血管外科学・病院管 理学客員准教授		特定機能病院の医療安 全管理部門で従事した経 験があり、医療に係る安 全管理に関する識見を有 する。	無	1
田島 優子	さわやか法律事務所 弁護士		弁護士として政府の諮問 機関等医療問題に関 わっており、医療に係る 法律に関する識見を有す る。	無	1
桜井 なおみ	一般社団法人 CSR プロ ジェクト 代表理事		患者団体の代表者であ り、医療を受ける者とし て、医療安全管理につい て識見を有する。	無	2

- 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 (注) 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページへ記載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
該当なし	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがI期、II期又はIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【外科的治療を実施する施設】	0人
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	39人
プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 胃上皮性病変	114人
イマチニブ経口投与及びベムプロリズマブ静脈内投与の併用療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	0人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る)	5人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(非小細胞肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。)	17人
メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法 膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る)	5人
シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る)	3人
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	31人
ラメルテオン経口投与療法 悪性腫瘍(六十五歳以上の患者に係るものに限る。)	183人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	8人
先進医療の種類の合計数	14
取り扱い患者数の合計(人)	406人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	筋萎縮性側索硬化症	3	56	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
2	パーキンソン病	30	57	マルファン症候群	1
3	大脳皮質基底核変性症	1	58	ウィルソン病	2
4	シャルコー・マリー・トウース病	1	59	急速進行性糸球体腎炎	3
5	重症筋無力症	21	60	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
6	多発性硬化症／視神経脊髄炎	3	61	閉塞性細気管支炎	119
7	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	62	副甲状腺機能低下症	53
8	多系統萎縮症	1	63	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4
9	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	2	64	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	3
10	もやもや病	2	65	強直性脊椎炎	1
11	進行性多巣性白質脳症	1	66	胆道閉鎖症	1
12	神経線維腫症	5	67	IgG4関連疾患	6
13	表皮水疱症	1	68	黄斑ジストロフィー	1
14	膿疱性乾癬(汎発型)	2	69	好酸球性副鼻腔炎	2
15	スティーヴンス・ジョンソン症候群	11	70	特発性多中心性キャッスルマン病	1
16	悪性関節リウマチ	1	71		
17	バージャー病	1	72		
18	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	73		
19	全身性エリテマトーデス	15	74		
20	皮膚筋炎／多発性筋炎	10	75		
21	全身性強皮症	1	76		
22	混合性結合組織病	3	77		
23	シェーグレン症候群	506	78		
24	ベーチェット病	4	79		
25	特発性拡張型心筋症	13	80		
26	肥大型心筋症	15	81		
27	拘束型心筋症	1	82		
28	再生不良性貧血	14	83		
29	自己免疫性溶血性貧血	88	84		
30	特発性血小板減少性紫斑病	69	85		
31	血栓性血小板減少性紫斑病	1	86		
32	IgA 腎症	5	87		
33	多発性嚢胞腎	2	88		
34	後縦靱帯骨化症	5	89		
35	特発性大腿骨頭壊死症	2	90		
36	下垂体性PRL分泌亢進症	1	91		
37	クッシング病	1	92		
38	家族性高コレステロール血症(ホモ接合	1	93		
39	アジソン病	2	94		
40	サルコイドーシス	5	95		
41	特発性間質性肺炎	19	96		
42	肺動脈性肺高血圧症	2	97		
43	バッド・キアリ症候群	1	98		
44	特発性門脈圧亢進症	1	99		
45	原発性胆汁性胆管炎	3	100		
46	原発性硬化性胆管炎	1	101		
47	自己免疫性肝炎	7	102		
48	クローン病	6	103		
49	潰瘍性大腸炎	54	104		
50	遺伝性周期性四肢麻痺	1	105		
51	脊髄空洞症	2	106		
52	遺伝性ジストニア	1	107		
53	スタージ・ウェーバー症候群	1	108		
54	結節性硬化症	2	109		
55	色素性乾皮症	2	110		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	70
合計患者数(人)	1,156

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 情報通信機器を用いた診療にかかる基準	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 医療DX推進体制整備加算	・ 術後疼痛管理チーム加算
・ 特定機能病院入院基本料(一般病棟(7対1))	・ 後発医薬品使用体制加算1
・ 診療録管理体制加算2	・ バイオ後続品使用体制加算
・ 医師事務作業補助体制加算1(25対1)	・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割以上)	・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ 夜間100対1急性期看護補助体制加算(急性期看護補助体制加算の注2)	・ データ提出加算2イ
・ 夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算の注3)	・ 入退院支援加算1
・ 看護補助体制充実加算2(急性期看護補助体制加算の注4)	・ 入院時支援加算(入退院支援加算の注7)
・ 看護職員夜間12対1配置加算1	・ 総合機能評価加算(入退院支援加算の注8)
・ 療養環境加算	・ 認知症ケア加算1
・ 重症者等療養環境特別加算	・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 無菌治療室管理加算1	・ 排尿自立支援加算
・ 無菌治療室管理加算2	・ 特定集中治療室管理料1
・ 放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・ (特定集中治療室管理料の注1)
・ 放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・ 早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料の注4)
・ 緩和ケア診療加算	・ 早期栄養介入管理加算(特定集中治療室管理料の注5)
・ がん拠点病院加算	・ 小児入院医療管理料3
・ がんゲノム拠点病院加算	・ (小児入院医療管理料の注2)
・ 栄養サポートチーム加算	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 医療安全対策加算1	・ 歯科外来診療環境体制加算2
・ 感染対策向上加算1	・ 歯科外来診療感染対策加算3
・ 指導強化加算(感染対策向上加算の注2)	
・ 患者サポート体制充実加算	
・ 報告書管理体制加算	
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指導管理料	・乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴うもの)
・難治性がん性疼痛緩和指導管理加算(がん性疼痛緩和指導管理料の注2)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん患者指導管理料イ	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの))
・がん患者指導管理料ロ	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ハ	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・外来リハビリテーション診療料	・腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・外来放射線照射診療料	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・外来腫瘍化学療法診療料1	・腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の注6)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・がん薬物療法体制充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の注9)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・ニコチン依存症管理料	・腹腔鏡下肝切除術
・相談支援加算(療養・就労両立支援指導料の注3)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・がん治療連携計画策定料1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・がん治療連携管理料	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来がん患者在宅連携指導料	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・外来排尿自立指導料	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・薬剤管理指導料	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・医療機器安全管理料1	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・医療機器安全管理料2	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・がんゲノムプロファイリング評価提供料	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・人工尿道括約筋植込・置換術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・遺伝学的検査	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・骨髓微小残存病変量測定	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)

・BRCA1/2遺伝子検査	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がんゲノムプロファイリング検査	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(Ⅰ)(検体検査判断料の注4)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(Ⅳ)(検体検査判断料の注4)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算(検体検査判断料の注5)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝カウンセリング加算(検体検査判断料の注6)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算(検体検査判断料の注7)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・神経学的検査	・腹腔鏡下膣式子宮全摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CT透視下気管支鏡検査加算(経気管肺生検法の注2)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・経頸静脈的肝生検	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・経気管支凍結生検法	・輸血管理料Ⅰ
・画像診断管理加算1	・輸血適正使用加算
・画像診断管理加算4	・コーディネート体制充実加算
・ポジトロン断層撮影	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・麻酔管理料(Ⅰ)
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	・麻酔管理料(Ⅱ)
・CT撮影及びMRI撮影	・放射線治療専任加算
・大腸CT撮影加算(コンピューター断層撮影の注7)	・外来放射線治療加算
・乳房MRI撮影加算(磁気共鳴コンピューター断層撮影の注5)	・高エネルギー放射線治療
・頭部MRI撮影加算(磁気共鳴コンピューター断層撮影の注8)	・1回線量増加加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算(処方料の注7、処方箋料の注6)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・外来化学療法加算1	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・無菌製剤処理料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	・定位放射線治療
・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・画像誘導密封小線源治療加算(密封小線源治療の注8)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・摂食嚥下機能回復体制加算2(摂食機能療法の注3)	・病理診断管理加算2
・がん患者リハビリテーション料	・悪性腫瘍病理組織標本加算

・リンパ浮腫複合的治療料	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・ストーマ合併症加算	・入院ベースアップ評価料87
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算(皮膚悪性腫瘍切除術の注)	・歯科治療時医療管理料
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合)	・有床義歯咀嚼機能検査1
・処理骨再建加算(四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術、骨悪性腫瘍手術の注)	・精密触覚機能検査
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・歯科口腔リハビリテーション料2
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算(頭蓋内腫瘍摘出術の注1)	・口腔粘膜処置
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算(頭蓋内腫瘍摘出術の注2)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・内視鏡下脳腫瘍生検術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・内視鏡下脳腫瘍摘出術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)	・レーザー機器加算
・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)	・う蝕歯無痛の窩洞形成加算
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・歯科技工士連携加算1及び口腔外科歯科技工士連携加算(※当院が要件を満たしているのは”歯科技工士連携加算1”のみ)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・歯科技工加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算1(乳腺悪性腫瘍手術の注1)	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料
・乳がんセンチネルリンパ節加算2(乳腺悪性腫瘍手術の注2)	
・乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴わないもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回／週	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	14
	剖検率(%)	4.18

(注) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こと。

(注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん全ゲノム解析等による実践的個別化医療体系構築と拡充をめざした多施設共同研究	角南久仁子	臨床検査科	305,500,000	委	AMED
がん全ゲノム解析等の臨床的有用性の検証、および、患者還元の体制構築に関する研究	山本昇	先端医療科	184,928,000	委	AMED
造血幹細胞移植後の二次性固形癌から得られたゲノム変異による個別化医療の確立と臨床的妥当性の検証	森泰昌	病理診断科	22,035,580	委	AMED
高精細内視鏡画像と切除後病理画像を用いた早期大腸がん最深部の三次元構造推定AIの開発	斎藤豊	内視鏡科	9,075,000	委	AMED
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタビン+シスプラチン+S-1 (GCS)療法の第III相試験	奥坂拓志	肝胆膵内科	11,450,000	委	AMED
下部直腸癌に対するtotal neoadjuvant therapy (TNT) および watch and wait strategyの第II/III相単群検証的試験	金光幸秀	大腸外科	16,650,000	委	AMED
Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験	高島淳生	消化管内科	9,048,123	委	AMED
非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究	渡辺俊一	呼吸器外科	12,490,000	委	AMED
がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発:国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	松岡弘道	精神腫瘍科/支持療法開発センター	14,660,286	委	AMED
アグレッシブ成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	13,145,800	委	AMED
がん幹細胞を標的とした初発膠芽腫の放射線+テモゾロミド+メトホルミン併用療法の第I・II相臨床試験	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	7,800,000	委	AMED
アジアがん臨床試験ネットワーク構築に関する事業	島田和明		275,860,000	補	AMED
再発・難治性悪性神経膠腫に対する治療用放射性薬剤64Cu-ATSMの有効性を検証する研究開発	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	43,033,976	委	AMED
希少がんプラットフォーム試験へのDCT導入に関する研究開発	中村健一		65,000,000	委	AMED
小児・AYAがん患者の薬剤アクセスの改善と薬事承認に利活用可能なデータ収集を目的とした患者申出療養制度に基づく特定臨床研究	小川千登世	小児腫瘍科	70,590,000	委	AMED
ホウ素中性子捕捉療法用中性子照射装置の中性子ビーム特性評価の標準化に関する研究開発	井垣浩	放射線治療科	2,640,000	委	AMED

RWDを用いてバイオマーカーに基づいた希少がん・希少フラクション医薬品の適応拡大を含む、医薬品の効率的な利用制度の創設を目指した研究開発	大熊ひとみ	国際開発部門研究企画室	5,200,000	委	AMED
がん全ゲノム解析の患者還元構築に関する研究	角南久仁子	臨床検査科	43,680,000	委	AMED
切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究	大幸宏幸	食道外科	7,380,000	委	AMED
せん妄ハイリスクがん患者の術後せん妄予防におけるラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検化プラセボ対照ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	13,726,338	委	AMED
前立腺癌に対するMR画像誘導即時適応定位放射線治療の臨床応用を目指す研究	井垣浩	放射線治療科	12,210,000	委	AMED
進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第III相試験	吉川貴己	胃外科	11,180,000	委	AMED
がん患者における術後せん妄予防のプレシジョンメディシンの開発	貞廣良一	精神腫瘍科	23,994,400	委	AMED
高精細内視鏡併用・共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた早期胃がんに対する狙撃光学生検の臨床応用と実用化	高丸博之	内視鏡科	15,230,000	委	AMED
高齢者における免疫チェックポイント阻害剤の投与法別における薬物動態と毒性変化、免疫応答解析の前向き観察研究	吉田達哉	呼吸器内科/先端医療科	12,874,832	委	AMED
がん全ゲノム解析等の臨床的有用性の検証、および、患者還元の体制構築に関する研究	山本昇	先端医療科	9,750,000	委	AMED
がん全ゲノム解析等による実践的個別化医療体系構築と拡充をめざした多施設共同研究	角南久仁子	臨床検査科	113,500,000	委	AMED
乳がん根治治療後の慢性痛に対する鍼灸治療の開発	石木寛人	緩和医療科	7,410,000	委	AMED
早期開発から後期開発までのシームレスな研究開発支援体制構築事業	島田和明		188,000,000	補	AMED
再発低リスク大腸癌患者における根治切除後のレスインテンシブなサーベイランスの単群検証的試験(JCOG1915)	金光幸秀	大腸外科	2,899,000	委	AMED
L型アミノ酸トランスポーター(LAT1)陽性腫瘍へのホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の適応拡大に向けたオールジャパンでのバスケット型治験実現のための、コンパニオン診断薬確立を目指す研究	柏原大朗	放射線治療科、先端医療開発センター BNCT医療開発分野	2,660,000	委	AMED
生検検体プロテオーム解析によるRAS野生型転移性大腸がんの抗EGFR抗体耐性機構の解明と新規治療標的の探索	平野秀和	消化管内科	7,410,000	委	AMED
非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	後藤悌	呼吸器内科	9,241,837	委	AMED
患者報告アウトカムを利用したAYA世代がん患者支援ツールの開発	石木寛人	緩和医療科	13,000,000	委	AMED

網膜芽細胞腫患者・家族の包括的支持緩和ケアの前向きコホート研究	鈴木茂伸	眼腫瘍科	9,955,000	委	AMED
浸潤性粘液腺癌の病態解明	谷田部恭	病理診断科	5,980,000	補	日本学術振興会
重責・多発・再発癌のゲノム異常の蓄積、相同組換え修復欠損に基づく至適治療法の開発	森泰昌	病理診断科	1,716,315	補	日本学術振興会
小細胞肺癌のフェノタイプ解析による免疫療法の治療効果予測因子の解明	吉田達哉	呼吸器内科	330,000	補	日本学術振興会
下部消化管出血に対するイミペネムを用いた血管内治療の確立：腸管虚血回避に向けて	中間楽平	放射線診断科	480,000	補	日本学術振興会
大規模コホートおよび網羅的遺伝子解析による甲状腺未分化癌新規サブグループの解明	大舘徹	病理診断科	2,210,000	補	日本学術振興会
リスク低減手術の性生活への影響：HBOC当事者とパートナーを対象とした質的研究	松川愛未	遺伝子診療部門	1,430,000	補	日本学術振興会
悪性脳腫瘍におけるAPTイメージングの有用性の確立と臨床応用	大野誠	脳脊髄腫瘍科	1,104,268	補	日本学術振興会
可変型マルチチャンネルアプリケータを用いた強度変調小線源治療法の開発	千葉貴仁	放射線品質管理室	813,835	補	日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法における適正な治療効果予測法の確立	中村哲志	放射線品質管理室	1,198,813	補	日本学術振興会
肺がん化学放射線治療後の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究	稲葉浩二	放射線治療科	137,717	補	日本学術振興会
TERTを標的とした悪性髄膜腫の新規治療法開発	高橋雅道	脳脊髄腫瘍科	1,152,272	補	日本学術振興会
AYA世代慢性疾患患者の闘病体験の語り直しに関する研究	松元和子	精神腫瘍科	383,750	補	日本学術振興会
希少がんPatient-Derived Xenograftを用いた薬剤開発	小島勇貴	腫瘍内科	1,452,533	補	日本学術振興会
AYA世代がん患者の早期症状緩和と心理社会的支援に関するスクリーニング法の開発	平山貴敏	精神腫瘍科	20,522	補	日本学術振興会
ゲノムの詳細解析に基づく若年肺癌発生分子機序の解明	角南久仁子	臨床検査科	131,226	補	日本学術振興会
簇出と上皮間葉移行に注目した早期口腔癌のリンパ節転移予測	坂井利彦	頭頸部外科	386,582	補	日本学術振興会
放射線療法に伴う味覚障害の唾液メタボローム解析による病態解明と治療への応用	八岡和歌子	歯科	118,127	補	日本学術振興会

骨軟部腫瘍の病理診断に有用な免疫染色マーカーの開発	吉田朗彦	病理診断科	235,877	補	日本学術振興会
膵がん免疫微小環境における神経系の役割	平岡伸介	病理診断科	2,282,066	補	日本学術振興会
ハイドロゲルによるがん幹細胞誘導システムによる悪性中皮腫の幹細胞マーカーの同定	杉野弘和	病理診断科	210,873	補	日本学術振興会
がん口腔支持医療における半夏瀉心湯の有用性を明らかにするための基礎及び臨床研究	上野尚雄	歯科	798,429	補	日本学術振興会
がん患者の抑うつ低減のための行動活性化療法を用いたセルフヘルププログラムの開発	小川祐子	精神腫瘍科	270,000	補	日本学術振興会
シングルセル解析を用いた乳癌の腫瘍内不均一性の機序解明と新規治療戦略に関する研究	椎野翔	乳腺外科	1,308,016	補	日本学術振興会
悪性黒色腫におけるALDH2遺伝子多型の発症と予後に関する影響の解明	緒方大	皮膚腫瘍科	180,000	補	日本学術振興会
頭頸部皮弁癌のゲノム解析による発癌メカニズムの解明	江口紘太郎	頭頸部外科	489,080	補	日本学術振興会
AYA世代のがん疼痛治療選択のためのバイオマーカー探索と新たながん疼痛治療の開発	松岡弘道	精神腫瘍科	120,000	補	日本学術振興会
AYA世代がん患者の心理的ケアを目的としたピアサポートシステムの開発	平山貴敏	精神腫瘍科	2,541,056	補	日本学術振興会
乳がんサバイバーの慢性疼痛の病態解明と治療開発	石木寛人	緩和医療科	1,560,019	補	日本学術振興会
術後せん妄発症を制御する免疫ランドスケープの解明	貞廣良一	精神腫瘍科	2,419,750	補	日本学術振興会
リン酸化プロテオゲノミクス解析を用いたBRAF変異陽性大腸癌治療抵抗性の解明	庄司広和	消化管内科	281,296	補	日本学術振興会
初発膠芽腫に対するメホルミンを用いた臨床試験に付随するバイオマーカー探索研究	大野誠	脳脊髄腫瘍科	630,100	補	日本学術振興会
肉腫の脱分化機構に着目した新たな疾患分類の確立と治療標的開発	小林英介	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	421,687	補	日本学術振興会
子宮頸がんに対する治療標的となりうる新規ゲノムプロファイリングの同定	加藤友康	婦人腫瘍科	841,277	補	日本学術振興会
MDM2遺伝子増幅固形がんのバイオマーカーおよび免疫学的応答の基盤研究	小山隆文	先端医療科	330,000	補	日本学術振興会
Single energy CTを用いたヨード定量画像：DECTの代替手法の確立	瓜倉厚志	放射線診断技術室	996,517	補	日本学術振興会

食道癌に対する術前治療法による微小腫瘍免疫環境に与える影響の違いに関する研究	柏原大朗	放射線治療科	450,000	補	日本学術振興会
生物物理放射線量一体評価型計測システムの開発と基礎検証	飯島康太郎	放射線品質管理室	717,208	補	日本学術振興会
末梢肺病変に対する気管支鏡の新たな検体採取法の確立	松元祐司	内視鏡科	1,353,200	補	日本学術振興会
若年発症肺腺がんにおける遺伝的要因の同定	張萌琳	遺伝子診療部門	3,041,487	補	日本学術振興会
予後不良Ewing肉腫における分子マーカーの同定および新規治療標的の探索	小倉浩一	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	330,000	補	日本学術振興会
予後不良子宮体癌に対する治療標的となる遺伝子異常の同定	加藤真弓	婦人腫瘍科	3,894,674	補	日本学術振興会
遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングに資する遺伝情報の把握と活用	渡辺智子	遺伝子診療部門	3,573,640	補	日本学術振興会
多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	21,164	補	日本学術振興会
プロテオゲノミクスを用いた悪性骨軟部腫瘍の新たな診断・治療標的の探索	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	2,340,000	補	日本学術振興会
がん患者の難治性神経障害性疼痛への標準的薬物療法に対する有効性評価の確立	松岡弘道	精神腫瘍科	1,690,000	補	日本学術振興会
がん患者の難治性神経障害性疼痛への標準的薬物療法に対する有効性評価の確立	松岡弘道	精神腫瘍科	4,290,000	補	日本学術振興会
骨軟部腫瘍全ゲノム解析データに基づく遺伝子異常の機能解析と治療標的の同定	平田真	遺伝子診療部門	5,980,000	補	日本学術振興会
RNAヘリケース変異がR-loopの蓄積を招き造血器腫瘍を発症させる機序の解明	松井啓隆	臨床検査科	1,300,000	補	日本学術振興会
唾液腺導管癌における新しい治療戦略へ向けたマイクロサテライト不安定性の解析	伏見千宙	頭頸部外科	822,715	補	日本学術振興会
ICH-GCP改定における日本からのステークホルダー参画のための研究	中村健一	国際開発部門	7,500,000	補	厚生労働省
がん遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養の円滑な提供体制等の構築に資する研究	山本昇	先端医療科	15,000,000	補	厚生労働省
希少がん診療・相談支援におけるネットワーク構築に資する研究	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	5,950,000	補	厚生労働省
アピアランスケアに関する相談支援・情報提供体制の構築に向けた研究	藤間勝子	アピアランス支援室	10,750,000	補	厚生労働省

臨床研究法へのスポンサー概念の導入のための調査研究	沖田南都子	研究企画推進部	4,914,000	補	厚生労働省
がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	里見絵理子	緩和医療科	7,510,000	補	厚生労働省
骨髄バンクドナーの提供体制強化と若年ドナーの確保・リテンションへ向けた適切な介入方法の確立のための研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	5,253,000	補	厚生労働省
希少がんおよび小児がんの臨床試験・治験等に関する医療従事者と患者の情報リテラシーの向上に資する研究	大熊ひとみ	国際開発部門研究企画室	8,060,000	補	厚生労働省
AYA世代がんサバイバーに対するePROシステムを活用したスクリーニング法の開発	平山貴敏	精神腫瘍科	500,000	補	公益財団法人がん研究振興財団
早期消化管癌のImage-enhanced endoscopy診断技術およびESD技術の習得。大腸早期がんのJNETを用いた内視鏡診断の国際共同研究、ESDトレーニングにおけるラーニングカーブの国際共同研究など	齋藤豊	内視鏡科	450,000	補	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
DDX41変異によるR-loopの蓄積が造血器腫瘍を発症させる機序の解明	松井啓隆	臨床検査科	1,000,000	補	公益財団法人先進医薬研究振興財団
頭頸部がん患者の口腔有害事象に対する支持療法の医学教育プロジェクト	上野尚雄	歯科	8,000,000	補	MSD株式会社
DDX41異常による骨髄性造血器腫瘍の発症メカニズムの解明	松井啓隆	臨床検査科	500,000	補	一般社団法人日本血液学会
頭頸部癌放射線治療の口腔衛生管理の確立の為に口腔内細菌叢の変化に関する前向き研究	上野尚雄	放射線治療科	300,000	補	公益社団法人日本放射線腫瘍学会
在宅医療における麻薬注射製剤(PCAポンプ)普及のための調査研究	石川彩夏	緩和医療科	832,390	補	公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
がん治療を受ける女性の妊孕性温存治療に関する意思決定を支援する教材開発に向けた基礎調査	池田ゆきみ	がん相談支援センター	300,000	補	一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会
RNAヘリケース変異によるR-loopの蓄積を介した骨髄性造血器腫瘍発症機序の解明	松井啓隆	臨床検査科	2,000,000	補	公益財団法人高松宮妃癌研究基金
放射線性顎骨壊死に対するPENTOCLO治療の有効性検証のための治験の研究	櫻町円香	放射線治療科	500,000	補	公益財団法人日本対がん協会
肺区域切除術の手術技術的方法論の検討	四倉正也	呼吸器外科	1,000,000	補	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
進行がん患者の栄養障害に関する実態調査と多職種による栄養サポート体制構築のための研究	荒川さやか	緩和医療科	500,000	補	公益財団法人日本対がん協会
小児・思春期 がん患者の治療に伴う外見変化に対して、医療者が提供するアピアランスケアに関する調査	藤間勝子	アピアランス支援室	300,000	補	公益財団法人がんの子どもを守る会
胃内視鏡的全層切除術におけるVirtual Reality (VR) 技術を応用した手術ナビゲーションシステム開発のための基盤研究	魚住健志	内視鏡科	500,000	補	先進内視鏡治療研究会

小線源治療における放射線治療計画の質的標準化を目指した最適化計算の利用法に関する研究	岡本裕之	放射線品質管理室	800,000	補	マイクロセレクトロンHDR研究会
根治切除された胃神経内分泌癌(NEC)におけるリンパ節転移頻度の調査とリンパ節郭清効果の検討	山形幸徳	胃外科	500,000	補	一般社団法人日本胃癌学会
人工知能によるコンピュータ検出支援を用いた大腸内視鏡検査の大腸がん検診における有効性と医療経済性評価に関するアジア多施設共同研究	関口正宇	内視鏡科	1,000,000	補	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
AYA 世代がん患者の心理的苦痛緩和のためのピアサポートプログラムの開発	平山貴敏	精神腫瘍科	800,000	補	国立高度専門医療研究センター(JH)
国立高度専門医療研究センター6機関受診患者における多疾患併存状態とポリファーマシーの関連:6NC -EHRs を用いたコホート研究	橋本浩伸	薬剤部	2,000,000	補	国立高度専門医療研究センター(JH)

計111件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kawauchi,D/ Ohno,M/Hon- da- Kitahara,M/ 他	脳脊髄腫瘍科	Clinical characteristics and prognosis of Glioblastoma patients with infratentorial recurrence.	BMC neurology・2023年23 巻1号9ページ	Original Article
2	Kawauchi,D/ Ohno,M/Miy- akita,Y/他	脳脊髄腫瘍科	Consulting a neurosurgeon upon initial medical assessment reduces the time to the first surgery and potentially contributes to improved prognosis for glioblastoma patients.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻11 号1027-1033ページ	Original Article
3	Omura,G/Yo- shimoto,S/Ri- kitake,R/他	頭頸部外科	Comparison of survival outcomes between adolescent and young adults and older adults with tongue squamous cell carcinoma: a nationwide database study using the head and neck cancer registry of Japan.	International journal of clinical oncology・2023年 28巻2号221-228ページ	Original Article
4	Eguchi,K/Ko- bayashi,K/Ho- nma,Y/他	頭頸部外科	Clinical and pathological features of second primary neoplasms arising in head and neck reconstructive skin flaps.	Scientific reports・2023年 13巻1号11214ページ	Original Article
5	Eguchi,K/Om- ura,G/Murak- ami,N/他	頭頸部外科	Comparison of Survival Outcomes Between Larynx-Preserving Open Partial Pharyngectomy and Radiotherapy or Chemoradiotherapy in Patients with Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma: A Single- Center Retrospective Analysis with Inverse Probability of Treatment Weighting Adjustments.	Annals of surgical oncology・2023年30巻11 号6867-6874ページ	Original Article

6	Omura,G/Na mikawa,K/Sa kai,T/他	頭頸部外科	Clinical outcomes of head and neck mucosal melanoma treated with surgery: a single-center study in Japan.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻11 号1045-1050ページ	Original Article
7	Watanabe,T/ Honma,Y/Yo nemori,K/他	頭頸部外科	High-grade intraductal carcinoma of the parotid gland harboring CTNNA1::ALK rearrangement: Changes in genetic status using genetic testing during treatment with an ALK inhibitor.	Head & neck・2024年46巻 3号E26-E31ページ	Case report
8	Eguchi,K/Om ura,G/Shimoi ,T/他	頭頸部外科	BCOR-CCNB3 sarcoma arising in the pharynx.	Auris, nasus, larynx・2023 年50巻4号618-622ページ	Case report
9	Omura,G/Ho nma,Y/Matsu moto,Y/他	頭頸部外科	Transnasal photoimmunotherapy with cetuximab sarotalocan sodium: Outcomes on the local recurrence of nasopharyngeal squamous cell carcinoma.	Auris, nasus, larynx・2023 年50巻4号641-645ページ	Case report
10	Hirose,T/Ya mamoto,S/Ho nma,Y/他	頭頸部・食道内科	Preoperative docetaxel, cisplatin, and 5- fluorouracil for resectable locally advanced esophageal and esophagogastric junctional adenocarcinoma.	Esophagus・2024年	Original Article
11	Yada,M/Yam amoto,S/Hon ma,Y/他	頭頸部・食道内科	Retrospective Analysis of Definitive Chemoradiotherapy With FOLFOX in Patients With Esophageal Cancer Intolerant to Cisplatin.	In vivo (Athens, Greece)・ 2024年38巻2号761-766 ページ	Original Article

12	Honma,Y/Ikeda,M/Hijioka,S/他	頭頸部・食道内科	Optimal first-line treatment strategies of systemic therapy for unresectable gastrointestinal neuroendocrine tumors based on the opinions of Japanese experts.	Investigational new drugs・2023年41巻6号777-786ページ	Original Article
13	Kadono,T/Yamamoto,S/Hirose,T/他	頭頸部・食道内科	Safety and short-term efficacy of preoperative FOLFOX therapy in patients with resectable esophageal squamous cell carcinoma who are ineligible for cisplatin.	Esophagus・2023年20巻1号109-115ページ	Original Article
14	Itoyama,M/Ohara,A/Yokoyama,K/他	頭頸部・食道内科	Successful Use of Anti-PD-1 Antibody to Treat Multiple Metastatic Carcinomas in a Patient with Xeroderma Pigmentosum: Case Report and Literature Review.	Clinical Images and Case Reports Journal・2023年5巻5号312ページ	Case report
15	Yoshinami,Y/Nishimura,E/Hosokai,T/他	頭頸部・食道内科	Rare malignant neoplasm of the esophagus: current status and future perspectives.	Japanese journal of clinical oncology・2024年54巻2号111-120ページ	Review
16	Ikeda,G/Miyakoshi,J/Yamamoto,S/他	頭頸部・食道内科	Nivolumab in unresectable advanced, recurrent or metastatic esophageal squamous cell carcinoma.	Future oncology (London, England)・2024年20巻11号665-677ページ	Review
17	Kim,Y/Yamamoto,S/Kato,K/他	頭頸部・食道内科	Profile of Nivolumab in the Treatment of Resected Esophageal Squamous Cell Carcinoma: A Review of the Clinical Data.	Cancer management and research・2023年15巻399-406ページ	Review

18	Shiraishi,K/Y amamoto,S/K ato,K/他	頭頸部・食道内科	Combination immunotherapy in chemotherapy in gastric cancer.	The Lancet. Oncology・ 2023年24巻10号1054- 1055ページ	Others
19	Kato,K/Doki, Y/Ogata,T/ 他	頭頸部・食道内科	First-line nivolumab plus ipilimumab or chemotherapy versus chemotherapy alone in advanced esophageal squamous cell carcinoma: a Japanese subgroup analysis of open-label, phase 3 trial (CheckMate 648/ONO- 4538-50).	Esophagus・2023年20巻2 号291-301ページ	Original Article
20	Maseki,H/Jim bo,K/Watase ,C/他	乳腺外科	Clinical significance of tumor cell seeding associated with needle biopsy in patients with breast cancer.	Asian journal of surgery・ 2023年46巻9号3700-3704 ページ	Original Article
21	Murata,T/Yo shida,M/Shiin o,S/他	乳腺外科	A prediction model for distant metastasis after isolated locoregional recurrence of breast cancer.	Breast cancer research and treatment・2023年199 巻1号57-66ページ	Original Article
22	Murata,T/Yo shida,M/Shiin o,S/他	乳腺外科	Assessment of nuclear grade-based recurrence risk classification in patients with hormone receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative, node-positive high-risk early breast cancer.	Breast cancer (Tokyo, Japan)・2023年30巻6号 1054-1064ページ	Original Article
23	Shiino,S/Tok ura,M/Nakay ama,J/他	乳腺外科	Investigation of Tumor Heterogeneity Using Integrated Single-Cell RNA Sequence Analysis to Focus on Genes Related to Breast Cancer-, EMT-, CSC-, and Metastasis- Related Markers in Patients with HER2- Positive Breast Cancer.	Cells・2023年12巻18号 2286ページ	Original Article

24	Takayama,S/ Kinoshita,T/ Shiino,S/他	乳腺外科	Patients Offer Radiofrequency Ablation Therapy for Early Breast Cancer as Local Therapy (PO-RAFAELO) Study under the Patient- proposed Health Services.	JMA journal・2023年6巻4 号505-512ページ	Original Article
25	Shikata,S/Mu rata,T/Yoshi da,M/他	乳腺外科	Prognostic impact of HER2-low positivity in patients with HR-positive, HER2-negative, node- positive early breast cancer.	Scientific reports・2023年 13巻1号19669ページ	Original Article
26	Aiba,H/Kojim a,Y/Shimoi,T /他	腫瘍内科	Incidence of skeletal- related events in patients with Ewing sarcoma: An observational retrospective study in Japan	Cancer medicine・2024年 13巻5号e7060ページ	Original Article
27	Kojima,Y/Yo shida,H/Oku ya,T/他	腫瘍内科	Therapeutic target biomarkers of patient- derived xenograft models of gastric-type cervical adenocarcinoma	Gynecologic Oncology Reports・2023年50巻 101302ページ	Original Article
28	Kojima,Y/No guchi,E/Yosh ino,T/他	腫瘍内科	Development of a Detection System for ESR1 Mutations in Circulating Tumour DNA Using PNA- LNA-Mediated PCR Clamping	Diagnostics (Basel)・2023 年13巻12号2040ページ	Original Article
29	Aiba,H/Kojim a,Y/Shimoi,T , Sudo,K/他	腫瘍内科	Clinical characteristics of primary cutaneous and subcutaneous Ewing sarcoma	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻7号 604-610ページ	Original Article

30	Yonemori,K/ Fujiwara,K/H asegawa,K/ 他	腫瘍内科	Analysis of East Asia subgroup in Study 309/KEYNOTE-775: lenvatinib plus pembrolizumab versus treatment of physician's choice chemotherapy in patients with previously treated advanced or recurrent endometrial cancer	Journal of gynecologic oncology・2024年35巻2号 e40ページ	Original Article
31	Kitadai,R/Nis hikawa,T/Yos hida,H/他	腫瘍内科	Mesothelin expression in gynecologic carcinosarcoma: clinicopathological significance and correlation with HER2 expression	Journal of gynecologic oncology・2024年35巻2号 e11ページ	Original Article
32	Okuma,HS/ Watanabe,K/ Tsuchihashi, K/他	腫瘍内科	Phase II Trial of Nivolumab in Metastatic Rare Cancer with dMMR or MSI-H and Relation with Immune Phenotypic Analysis (the ROCK Trial)	Clinical cancer research・2023年29巻24号5079-5086ページ	Original Article
33	Saito,A/Nishi kawa,T/Yoshi da,H/他	腫瘍内科	Folate receptor alpha is widely expressed and a potential therapeutic target in uterine and ovarian carcinosarcoma	Gynecologic oncology・2023年176巻115-121ページ	Original Article
34	Nishikawa,T/ Hasegawa,K/ Matsumoto,K /他	腫瘍内科	Trastuzumab Deruxtecan for Human Epidermal Growth Factor Receptor 2-Expressing Advanced or Recurrent Uterine Carcinosarcoma (NCCH1615): The STATICE Trial	Japanese journal of clinical oncology・2023年41巻15号2789-2799ページ	Original Article
35	Okuma,HS/Y oshida,H/Ko bayashi,Y/他	腫瘍内科	Molecular pathology quality control in Southeast Asia: Results of a multiregional quality assurance study from MASTER KEY Asia	Cancer science・2023年114巻6号2664-2673ページ	Review

36	Akamine,T/N akagawa,K/It o,K/他	呼吸器外科	Impact of (18)F-FDG PET on TNM Staging and Prognosis in Thymic Epithelial Tumors.	Annals of surgical oncology・2024年31巻1号 192-200ページ	Original Article
37	Yano,K/Yots ukura,M/Wat anabe,H/他	呼吸器外科	Oncological feasibility of segmentectomy for inner- located lung cancer.	JTCVS open・2024年18巻 261-275ページ	Original Article
38	Higashiyama, M/Motoi,N/ Yotsukura,M /他	呼吸器外科	Clinicopathological characteristics and molecular analysis of lung cancer associated with ciliated muconodular papillary tumor/bronchiolar adenoma.	Pathology international・ 2023年73巻5号188-197 ページ	Original Article
39	Akamine,T/N akagawa,K/It o,K/他	呼吸器外科	Role of fluorine-18- fluorodeoxyglucose positron emission tomography in selecting candidates for a minimally invasive approach for thymic epithelial tumour resection.	Interdisciplinary cardiovascular and thoracic surgery・2023年 36巻5号ivad082ページ	Original Article
40	Adachi,M/Ma tsumoto,Y/F uruse,H/他	呼吸器外科	Utility of the endobronchial Watanabe spigot for intractable cancer-related pneumothorax: a retrospective observational study.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻9号 829-836ページ	Original Article
41	Muraoka,Y/Y otsukura,M/ Yoshida,Y/他	呼吸器外科	Dynamics of recurrence after curative resection of nonsmall cell lung cancer.	Journal of surgical oncology・2023年128巻7 号1205-1212ページ	Original Article

42	Takemura,C/ Imabayashi,T /Furuse,H/ 他	呼吸器外科	Thoracic SMARCA4- deficient undifferentiated tumor diagnosed by transbronchial mediastinal cryobiopsy: A case report.	Thoracic cancer・2023年 14巻10号953-957ページ	Case report
43	Torasawa,M/ Horinouchi,H /Nomura,S/ 他	呼吸器内科	Reconsidering the Cutoff Value for Sensitive and Refractory Relapses in Extensive-Stage SCLC in the Era of Immunotherapy.	Journal of thoracic oncology・2024年19巻2号 325-336ページ	Original Article
44	Okuma,Y/Ku bota,K/Shimo kawa,M/他	呼吸器内科	First-Line Osimertinib for Previously Untreated Patients With NSCLC and Uncommon EGFR Mutations: The UNICORN Phase 2 Nonrandomized Clinical Trial.	JAMA oncology・2024年10 巻1号43-51ページ	Original Article
45	Okuma,Y/Shi ntani,Y/Sekin e,I/他	呼吸器内科	Efficacy of Epidermal Growth Factor Receptor- Tyrosine Kinase Inhibitors in Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Poor Performance Status and Epidermal Growth Factor Receptor Mutations: Findings from the Japanese Lung Cancer Registry Database.	Clinical lung cancer・2024 年	Original Article
46	Takeyasu,Y/ Yoshida,T/M asuda,K/他	呼吸器内科	Distinct Progression and Efficacy of First-Line Osimertinib Treatment According to Mutation Subtypes in Metastatic NSCLC Harboring EGFR Mutations.	JTO clinical and research reports・2024年5巻2号 100636ページ	Original Article
47	Shirasawa,M/ Yoshida,T/Sh iraishi,K/他	呼吸器内科	Identification of inflamed- phenotype of small cell lung cancer leading to the efficacy of anti-PD-L1 antibody and chemotherapy.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)・2023年179 巻107183ページ	Original Article

48	Shirasawa,M/ Yoshida,T/Sh iraishi,K/他	呼吸器内科	Tumor microenvironment- mediated immune profiles and efficacy of anti-PD-L1 antibody plus chemotherapy stratified by DLL3 expression in small- cell lung cancer.	British journal of cancer・ 2023年129巻12号2003- 2013ページ	Original Article
49	Shimoda,Y/Y oshida,T/Miy akoshi,J/他	呼吸器内科	Incidence of serious adverse events caused by tyrosine kinase inhibitor treatment following immune checkpoint inhibitor therapy in advanced NSCLC patients with oncogenic driver alterations.	Cancer immunology, immunotherapy・2023年72 巻8号2613-2621ページ	Original Article
50	Torasawa,M/ Yoshida,T/T akeyasu,Y/他	呼吸器内科	Disease progression status during initial immune checkpoint inhibitor (ICI) affects the clinical outcome of ICI retreatment in advanced non-small cell lung cancer patients.	Cancer medicine・2023年 12巻11号12388-12401 ページ	Original Article
51	Yoshida,T/K umagai,T/To yozawa,R/他	呼吸器内科	Brigatinib in Japanese patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer: Final results of the phase 2 J-ALTA trial.	Cancer science・2023年 114巻9号3698-3707ペー ジ	Original Article
52	Nakamura,T/ Yoshida,T/T akeyasu,Y/他	呼吸器内科	Distinct metastatic spread and progression patterns in patients treated with crizotinib for ROS1- and ALK-rearranged non-small cell lung cancer: a single- center retrospective study.	Translational lung cancer research・2023年12巻7号 1436-1444ページ	Original Article
53	Torasawa,M/ Horinouchi,H /Yagishita,S/ 他	呼吸器内科	Exploratory analysis to predict pneumonitis during durvalumab consolidation therapy for patients with locally advanced non-small cell lung cancer from proteomic profiling of circulating extracellular vesicles.	Thoracic cancer・2023年 14巻29号2909-2923ペー ジ	Original Article

54	Tanaka,T/Go to,Y/Horie,M/他	呼吸器内科	Whole Exome Sequencing of Thymoma Patients Exhibiting Exceptional Responses to Pemetrexed Monotherapy.	Cancers・2023年15巻16号 4018ページ	Original Article
55	Uehara,Y/Ko yama,T/Kats uya,Y/他	呼吸器内科	Travel Time and Distance and Participation in Precision Oncology Trials at the National Cancer Center Hospital.	JAMA network open・2023年6巻9号e2333188ページ	Original Article
56	Imai,T/Yoshi da,T/Ohe,Y/他	呼吸器内科	Adenovirus pneumonia mimicking osimertinib-induced pneumonitis in a patient with advanced NSCLC with EGFR mutation: A case report.	Thoracic cancer・2024年15巻9号749-751ページ	Case report
57	Shirasawa,M/Yoshida,T/O he,Y/他	呼吸器内科	Biomarkers of immunotherapy for non-small cell lung cancer.	Japanese journal of clinical oncology・2024年54巻1号 13-22ページ	Review
58	Fukuda,A/Yo shida,T	呼吸器内科	Treatment of advanced ALK-rearranged NSCLC following second-generation ALK-TKI failure.	Expert review of anticancer therapy・2023年23巻11号1157-1167 ページ	Review
59	Torasawa,M/Horinouchi,H	呼吸器内科	A Response to the Letter to the Editor: "A Paradigm Shift in First-Line Treatment Can Have Many Implications for Second-Line Treatment".	Journal of thoracic oncology・2024年19巻2号 351-352ページ	Letter

60	Horinouchi,H	呼吸器内科	Another Pirate in the Red Ocean? CD73-Targeted Therapy in EGFR-Mutated NSCLC.	Journal of thoracic oncology・2023年18巻5号 552-555ページ	Letter
61	Okuma,Y/No mura,S/Sakak ibara- Konishi,J/他	呼吸器内科	Artemis: A Multicenter, Open-Label, Single-Arm, Phase II Study to Evaluate the Efficacy and Safety of First-Line Carboplatin/Paclitaxel/Le nvatinib/Pembrolizumab Combination for Previously Untreated Advanced or Recurrent Thymic Carcinomas.	Clinical lung cancer・2024年25巻4号389-394ページ	Others
62	Okuma,Y/No mura,S/Nino miya,K/他	呼吸器内科	Continuation of osimertinib in EGFR-mutant non-small-cell lung cancer patients bearing CNS metastasis (EPONA study).	Future oncology (London, England)・2023年19巻22号 1515-1521ページ	Others
63	Igaue,S/Noza ki,R/Utsuno miya,D/他	食道外科	Significance of Surgery for Resectable M1 Lymph Node Metastases Without Organ Metastasis in Esophageal Carcinoma in the Era of Neoadjuvant Treatment.	Annals of surgical oncology・2024年31巻3号 1525-1535ページ	Original Article
64	Yoshikawa,T/ Terashima,M /Mizusawa,J/ 他	胃外科	5-year follow-up results of a JCOG1104 (OPAS-1) phase III non-inferiority trial to compare 4 courses and 8 courses of S-1 adjuvant chemotherapy for pathological stage II gastric cancer.	Gastric cancer・2024年27巻1号155-163ページ	Original Article
65	Yamagata,Y/ Yoshikawa,T/ Ishizu,K/他	胃外科	Impact of D2 Gastrectomy for Locally Advanced Gastric Cancer in the Era of Effective Adjuvant Chemotherapy.	World journal of surgery・2023年47巻6号1512-1518 ページ	Original Article

66	Nishino,M/Y oshikawa,T/Y ura,M/他	胃外科	Possible candidates for splenic hilar nodal dissection among patients with upper advanced gastric cancer without invasion of the greater curvature.	Gastric cancer・2023年26巻3号460-466ページ	Original Article
67	Yoshikawa,T/ Sano,T/Teras hima,M/他	胃外科	Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry stomach cancer subcohort.	Gastric cancer・2023年26巻4号493-503ページ	Original Article
68	Kamiya,A/Ha yashi,T/Sako n,R/他	胃外科	Acceleration of sarcopenia in elderly patients who develop asymptomatic pneumonia shadow within one year after surgery for early gastric cancer.	BMC surgery・2023年23巻1号232ページ	Original Article
69	Hayashi,T/T akasawa,K/Y oshikawa,T/ 他	胃外科	A discrimination model by machine learning to avoid gastrectomy for early gastric cancer.	Annals of gastroenterological surgery・2023年7巻6号913-921ページ	Original Article
70	Yamagata,Y/ Komiya,M /Iwata,S/他	胃外科	Clinical characteristics and management of primary retroperitoneal sarcoma: A literature review.	Annals of gastroenterological surgery・2024年8巻1号21-29ページ	Review
71	Imaizumi,J/S hida,D/Boku, N/他	大腸外科	Prognostic factors associated with the transition in treatment methods for brain metastases from colorectal cancer.	International journal of clinical oncology・2023年28巻8号1043-1053ページ	Original Article

72	Kobayashi,Y/ Shida,D/Boku,N/他	大腸外科	Prognostic Factors of Bone Metastases From Colorectal Cancer in the Era of Targeted Therapy.	Diseases of the colon and rectum・2023年66巻3号 401-409ページ	Original Article
73	Takamizawa, Y/Shida,D/Horie,T/他	大腸外科	Prognostic Role for Primary Tumor Location in Patients With Colorectal Liver Metastases: A Comparison of Right-Sided Colon, Left-Sided Colon, and Rectum.	Diseases of the colon and rectum・2023年66巻2号 233-242ページ	Original Article
74	Yasui,K/Shida,D/Ahiko,Y/他	大腸外科	Risk of non-colorectal cancer-related death in elderly patients with the disease: A comparison of five preoperative risk assessment indices.	Cancer medicine・2023年12巻3号2290-2302ページ	Original Article
75	Horie,T/Kanemitsu,Y/Takamizawa,Y/他	大腸外科	Prognostic differences between oligometastatic and polymetastatic disease after resection in patients with colorectal cancer and hepatic or lung metastases: Retrospective analysis of a large cohort at a single institution.	Surgery・2023年173巻2号 328-334ページ	Original Article
76	Imaizumi,J/Moritani,K/Takamizawa,Y/他	大腸外科	A review of 14 cases of perianal Paget's disease: characteristics of anorectal cancer with pagetoid spread.	World journal of surgical oncology・2023年21巻1号 17ページ	Original Article
77	Tsukamoto,S/Ouchi,A/Komori,K/他	大腸外科	A multicenter prospective observational study of lymph node metastasis patterns and short-term outcomes of extended lymphadenectomy in right-sided colon cancer.	Annals of gastroenterological surgery・2023年7巻6号 940-948ページ	Original Article

78	Ito,T/Takayana gi,D/Sekine, S/他	消化管内科	Comparison of clinicopathological and genomic profiles in anal squamous cell carcinoma between Japanese and Caucasian cohorts.	Scientific reports・2023年 13巻1号3587ページ	Original Article
79	Aoki,M/Kadowaki, S/Takahashi,N/他	消化管内科	Pattern of disease progression during third-line or later chemotherapy with nivolumab associated with poor prognosis in advanced gastric cancer: a multicenter retrospective study in Japan.	Gastric cancer・2023年26 巻1号132-144ページ	Original Article
80	Yamaguchi,T/ Takashima, A/Nagashima, K/他	消化管内科	Evaluating the efficacy of post-operative chemotherapy after curative resection of stage IV gastric cancer with synchronous oligo metastasis: a multicenter retrospective study.	Gastric cancer・2023年26 巻2号307-316ページ	Original Article
81	Kadono,T/Iwasa, S/Nagashima,K/他	消化管内科	Progression patterns and site-specific responses in advanced gastric cancer patients treated with nivolumab.	Cancer medicine・2023年 12巻8号9322-9331ページ	Original Article
82	Nishimatsu,K/ Matsumoto, Y/Kashima,J/ 他	内視鏡科	Concordance between cryobiopsy and forceps biopsy specimens in assessment of immunohistochemistry staining for non-small cell lung carcinoma.	Translational lung cancer research・2023年12巻6号 1245-1255ページ	Original Article
83	Suzuki,H/Nonaka, S/Maetani,I/他	内視鏡科	Clinical and endoscopic features of metachronous gastric cancer with possible lymph node metastasis after endoscopic submucosal dissection and Helicobacter pylori eradication.	Gastric cancer・2023年26 巻5号743-754ページ	Original Article

84	Sakamoto,T/I kematsu,H/T amai,N/他	内視鏡科	Detection of colorectal adenomas with texture and color enhancement imaging: Multicenter observational study.	Digestive endoscopy・2023年35巻4号529-537ページ	Original Article
85	Fujimoto,K/ Matsumoto,Y /Imabayashi, T/他	内視鏡科	Suitability of respiratory endoscopy for sampling malignant thoracic tumors for comprehensive genomic profiling.	Cancer science・2023年114巻11号4401-4412ページ	Original Article
86	So,C/Matsumoto,Y/Imabayashi,T/他	内視鏡科	Identifying factors causing failure of nodal staging by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration in non-small cell lung cancer.	Translational lung cancer research・2023年12巻11号2169-2180ページ	Original Article
87	Saito,Y	内視鏡科	Reply to Santos-Antunes et al.	Endoscopy・2023年55巻9号883ページ	Letter
88	Mizuguchi,Y/ Saito,Y	内視鏡科	Colorectal cancer invasion calculation, a colorectal tumor depth diagnostic artificial intelligence, is promising, but its diagnostic accuracy remains a challenge.	Digestive endoscopy・2023年35巻5号636-637ページ	Others
89	Saito,R/Ban, D/Mizui,T/ 他	肝胆膵外科	Oligo-like liver metastasis: A novel prognostic indicator to improve survival in pancreatic cancer.	Annals of gastroenterological surgery・2024年8巻3号481-489ページ	Original Article

90	Takamoto,T/ Nara,S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Enhanced Recognition Confidence of Millimeter- Sized Intrahepatic Targets by Real-Time Virtual Sonography.	Journal of ultrasound in medicine•2023年42巻8号 1789-1797ページ	Original Article
91	Takamoto,T/ Nara,S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Objective Definition and Optimized Strategy for ” Biologically Borderline Resectable” Colorectal Liver Metastases.	World journal of surgery• 2023年47巻11号2834- 2845ページ	Original Article
92	Nagashima,D /Esaki,M/Na ra,S/他	肝胆膵外科	Novel insights into the intraepithelial spread of extrahepatic cholangiocarcinoma: clinicopathological study of 382 cases on extrahepatic cholangiocarcinoma.	Frontiers in oncology• 2023年13巻1216097ペー ジ	Original Article
93	Umino,R/Nar a,S/Kobayash i,N/他	肝胆膵外科	Pathological complete response of initially unresectable multiple liver metastases achieved using combined peptide receptor radionuclide therapy and somatostatin analogs following pancreatic neuroendocrine tumor resection: a case report.	Surgical case reports•2024 年10巻1号40ページ	Case report
94	Komiyama,S/ Okusaka,T/ Maruki,Y/他	肝胆膵内科	Clinicopathological Findings and Treatment Outcomes of Patients with Primary Hepatobiliary Neuroendocrine Neoplasms: A Retrospective Single- institution Analysis.	Internal medicine (Tokyo, Japan)•2024年63巻7号 891-901ページ	Original Article
95	Maehara,K/H ijioka,S/Take shita,K/他	肝胆膵内科	Viscosity and Characteristics of Malignant Ascites.	Anticancer research•2024 年44巻2号533-542ページ	Original Article

96	Harai,S/Hijio ka,S/Yamada ,R/他	肝胆膵内科	Safety of biliary drainage with 6-mm metallic stent for preoperative obstructive jaundice in pancreatic cancer: PURPLE SIX STUDY.	Journal of gastroenterology and hepatology・2024年	Original Article
97	Yamashige,D /Hijioaka,S/N agashio,Y/他	肝胆膵内科	Incidence and factors associated with stent dysfunction and pancreatitis after gastroduodenal stenting for malignant gastric outlet obstruction.	Endoscopy international open・2024年12巻3号 E367-E376ページ	Original Article
98	Satake,T/Ko ndo,S/Tanab e,N/他	肝胆膵内科	Pathogenic Germline Variants in BRCA1/2 and p53 Identified by Real- world Comprehensive Cancer Genome Profiling Tests in Asian Patients.	Cancer research communications・2023年3 巻11号2302-2311ページ	Original Article
99	Kawasaki,Y/ Hijioaka,S/Na gashio,Y/他	肝胆膵内科	Efficacy of endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition for solid pancreatic lesions 20 mm or less in diameter suspected as neuroendocrine tumors or requiring differentiation.	Journal of gastroenterology・2023年 58巻7号693-703ページ	Original Article
100	Okusaka,T/N akamura,M/Y oshida,M/他	肝胆膵内科	Clinical Practice Guidelines for Pancreatic Cancer 2022 from the Japan Pancreas Society: a synopsis.	International journal of clinical oncology・2023年 28巻4号493-511ページ	Original Article
101	Harai,S/Hijio ka,S/Nagashi o,Y/他	肝胆膵内科	Comparison of 6-mm and 10-mm-diameter, fully- covered, self-expandable metallic stents for distal malignant biliary obstruction.	Endoscopy international open・2023年11巻4号 E340-E348ページ	Original Article

102	Okusaka,T/ Morimoto,M/ Eguchi,Y/他	肝胆膵内科	A Phase I Study to Investigate the Safety, Tolerability and Pharmacokinetics of Napabucasin Combined with Sorafenib in Japanese Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma.	Drugs in R&D・2023年23 巻2号99-107ページ	Original Article
103	Okusaka,T/S aiura,A/Shim ada,K/他	肝胆膵内科	Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry pancreatic cancer subcohort.	Journal of gastroenterology・2023年 58巻12号1261-1271ペー ジ	Original Article
104	Hijioka,S/Sak amoto,Y/Nag ashio,Y/他	肝胆膵内科	Novel and safe plastic stent exchange method after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy with incomplete fistula (side hole method).	Endoscopy・2023年55巻S 01号E24-E25ページ	Others
105	Hijioka,S/Sak amoto,Y/Nag ashio,Y/他	肝胆膵内科	Troubleshooting for endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy stent migration: Additional stenting by the partial stent-in-stent method.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E122-E124ページ	Others
106	Maehara,K/H ijioka,S/Kawa saki,Y/他	肝胆膵内科	A novel triple stenting in the treatment of post-choleodochojejunostomy reflux cholangitis.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E191-E193ページ	Others
107	Takeshita,K/ Hijioka,S/Ma ehara,K/他	肝胆膵内科	Bile duct radiofrequency ablation for a residual adenoma after endoscopic papillectomy.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E185-E188ページ	Others

108	Kawasaki,Y/ Hijioka,S/Ta keshita,K/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound- guided choledochojejunostomy using a forward-viewing echoendoscopic saddle- cross technique.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E233-E235ページ	Others
109	Takeshita,K/ Hijioka,S/Ka wasaki,Y/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound- guided hepaticojejunostomy for drainage of the right posterior hepatic duct enabled total liver drainage.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E346-E348ページ	Others
110	Matsuda,A/T aoka,R/Miki, J/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Prognostic impact of histological discordance between transurethral resection and radical cystectomy.	BJU international・2024年	Original Article
111	Takamori,H/ Yamasaki,T/ Kitadai,R/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Development of drugs targeting hypoxia- inducible factor against tumor cells with VHL mutation: Story of 127 years.	Cancer science・2023年 114巻4号1208-1217ペー ジ	Original Article
112	Kirisawa,T/N akamura,E/O kuno,T/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Significant reduction in burden of metastatic disease by intermittent docetaxel therapy in a patient with castration- resistant prostate cancer.	International cancer conference journal・2024年 13巻2号98-102ページ	Case report
113	Kato,MK/Fuj ii,E/Asami,Y /他	婦人腫瘍科	Clinical features and impact of p53 status on sporadic mismatch repair deficiency and Lynch syndrome in uterine cancer.	Cancer science・2024年 115巻5号1646-1655ペー ジ	Original Article

114	Ishikawa,M/S hibata,T/Kat aoka,T/他	婦人腫瘍科	Final analysis of a randomized phase II/III trial of conventional paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab versus dose-dense paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab, in stage IVB, recurrent, or persistent cervical carcinoma (JCOG1311).	International journal of gynecological cancer・2023年33巻5号692-700ページ	Original Article
115	Uno,M/Mats uo,R/Maezaw a,N/他	婦人腫瘍科	Evaluation of follow-up observation using human epididymis protein 4, a tumor marker, in patients with ovarian cancer.	Obstetrics & gynecology science・2023年66巻4号290-299ページ	Original Article
116	Kobayashi- Kato,M/Fujii, E/Asami,Y/ 他	婦人腫瘍科	Utility of the revised FIGO2023 staging with molecular classification in endometrial cancer.	Gynecologic oncology・2023年178巻36-43ページ	Original Article
117	Natsume,T/Y oshida,H/Nis hikawa,T/他	婦人腫瘍科	Uterine Leiomyosarcoma Masquerading as a Malignant Perivascular Epithelioid Cell Tumor: A Diagnostic Challenge.	International journal of surgical pathology・2023年31巻5号778-784ページ	Case report
118	Kitamura,SI/ Yoshida,H/K obayashi- Kato,M/他	婦人腫瘍科	Adenoid Basal Carcinoma with Adenoid Cystic Carcinoma Component of the Uterine Cervix: A Case Report and Literature Review.	International journal of surgical pathology・2023年31巻5号819-824ページ	Case report
119	Tanase,Y/Shi mada,M/Kato ,MK/他	婦人腫瘍科	Reconsideration of Sharp Dissection in Gynecological Surgery.	Gynecology and minimally invasive therapy・2023年12巻2号96-98ページ	Others

120	Mori,T/Kobayashi,E/Sato,Y/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	What Are the Complication Rates and Factors Associated With Total Femur Replacement After Tumor Resection? Findings From the Japanese Musculoskeletal Oncology Group.	Clinical orthopaedics and related research・2024年482巻4号702-712ページ	Original Article
121	Toda,Y/Kobayashi,E/Kubota,D/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	A retrospective analysis of the prognosis of Japanese patients with sarcoma brain metastasis.	Cancer medicine・2023年12巻8号9471-9481ページ	Original Article
122	Toda,Y/Ishihara,S/Kawai,A/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Blue lacy matrix in giant cell tumour of bone with or without denosumab therapy.	Virchows Archiv・2023年483巻1号125-129ページ	Original Article
123	Fukushima,T/Watanabe,N/Okita,Y/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	The evaluation of the association between preoperative sarcopenia and postoperative pneumonia and factors for preoperative sarcopenia in patients undergoing thoracoscopic-laparoscopic esophagectomy for esophageal cancer.	Surgery today・2023年53巻7号782-790ページ	Original Article
124	Ishihara,S/Ogura,K/Maejima,A/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Predictive value of peripheral blood markers in soft tissue sarcoma patients treated with eribulin.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻6号494-500ページ	Original Article
125	Toda,Y/Iwata,S/Kobayashi,E/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	A vessel sealing system can help reduce the risk of postoperative complications after tumour resection in the medial thigh.	Bone & joint open・2023年4巻6号442-446ページ	Original Article

126	Fukushima,T /Okita,Y/Wa tanabe,N/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Progress in muscle strength of the reconstructed knee and quality of life of the patient after knee rotationplasty: A case report.	Prosthetics and orthotics international・2023年47巻6号651-654ページ	Original Article
127	Fukushima,T /Okita,Y/Wa tanabe,N/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Factors associated with physical function in patients after surgery for soft tissue sarcoma in the thigh.	BMC musculoskeletal disorders・2023年24巻1号661ページ	Original Article
128	Fukushima,T /Okita,Y/Wa tanabe,N/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Evaluation of clinical factors associated with early postoperative physical function and lower extremity functional impairment in patients with soft tissue sarcoma.	Disability and rehabilitation・2023年45297ページ	Original Article
129	Sekita,T/Yos hida,A/Kawai ,A/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	IDH-negative chondrosarcoma with metachronous dedifferentiation only in the metastatic site-A diagnostic pitfall.	Genes, chromosomes & cancer・2023年62巻12号755-760ページ	Original Article
130	Kawai,A/Ishi hara,M/Naka mura,T/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Safety and Efficacy of NY-ESO-1 Antigen-Specific T-Cell Receptor Gene-Transduced T Lymphocytes in Patients with Synovial Sarcoma: A Phase I/II Clinical Trial.	Clinical cancer research・2023年29巻24号5069-5078ページ	Original Article
131	Tsuchiya,R/ Kobayashi,E/ Fukushima,S/ 他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Outcomes of Sling Procedure Using a Free Vascularized Fibular Graft After Resection of the Proximal Humerus.	JB & JS open access・2023年8巻4号e23.00044ページ	Original Article

132	Muramatsu,S /Yoshida,A/ Kojima,N/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Case Report: Painful EWSR1::SMAD3-Positive fibroblastic tumor invading bone.	JOS Case Reports・2023年 2巻4号188-191ページ	Case report
133	Tsuchiya,R/ Kobayashi,E/ Tanzawa,Y/ 他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Functional scoliosis caused by painful leiomyoma of deep soft tissue: A case report.	JOS Case Reports・2023年 2巻3号100-103ページ	Case report
134	Iwata,S	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	CORR Insights(R): Detection of Novel Tyrosine Kinase Fusion Genes as Potential Therapeutic Targets in Bone and Soft Tissue Sarcomas Using DNA/RNA-based Clinical Sequencing.	Clinical orthopaedics and related research・2024年 482巻3号564-565ページ	Review
135	Ogata,D/Namika wa,K/Nakano,E/他	皮膚腫瘍科	Epidemiology of skin cancer based on Japan's National Cancer Registry 2016-2017.	Cancer science・2023年 114巻7号2986-2992ペー ジ	Original Article
136	Takahashi,A/ Namikawa,K/ Ogata,D/他	皮膚腫瘍科	Updated analysis of nivolumab and ipilimumab combination therapy in Japanese patients with advanced melanoma.	The Journal of dermatology・2023年50巻4 号525-535ページ	Original Article
137	Wada,S/Ogata, D/Nakano, E/他	皮膚腫瘍科	Efficacy of chemotherapies for unresectable extramammary Paget disease: a single-centre retrospective study.	Clinical and experimental dermatology・2023年48巻9 号1019-1023ページ	Original Article

138	Yamazaki,N/ Kiyohara,Y/ Uhara,H/他	皮膚腫瘍科	Postmarketing surveillance of nivolumab plus ipilimumab combination therapy in Japanese patients with unresectable malignant melanoma.	The Journal of dermatology・2023年50巻9号1108-1120ページ	Original Article
139	Okumura,M/ Ogata,D/Na mikawa,K/他	皮膚腫瘍科	Functional preservation benefits of minimal surgery for extramammary Paget's disease.	Experimental dermatology・2023年32巻10号1644-1650ページ	Original Article
140	Namikawa,K/ Ito,T/Yoshik awa,S/他	皮膚腫瘍科	Systemic therapy for Asian patients with advanced BRAF V600-mutant melanoma in a real-world setting: A multi-center retrospective study in Japan (B-CHECK-RWD study).	Cancer medicine・2023年12巻17号17967-17980 ページ	Original Article
141	Mizuta,H/Yo shida,A/Taka hashi,A/他	皮膚腫瘍科	Congenital dermatofibrosarcoma protuberans with PDGFB gene rearrangement detected using fluorescence in situ hybridization.	Dermatology online journal・2023年29巻3号	Original Article
142	Okumura,M/ Ogata,D/Na mikawa,K/他	皮膚腫瘍科	Adenosquamous carcinoma of the Bartholin gland treated with surgery and radiotherapy.	European journal of dermatology・2023年33巻3号309-311ページ	Original Article
143	Tsuruta,S/O gata,D/Nami kawa,K/他	皮膚腫瘍科	Prognostic factors in cutaneous apocrine carcinoma: a single-institution retrospective study of 32 patients.	International journal of clinical oncology・2023年28巻12号1690-1696ページ	Original Article

144	Wada,S/Watanabe,T/Ishii,T/他	皮膚腫瘍科	A retrospective study of sentinel lymph node biopsy for skin cancer in Japan: Comparison with breast cancer and evaluation of factors related to its use.	Cancer medicine・2023年12巻23号21364-21372 ページ	Original Article
145	Wada,S/Ogata,D/Kashiwara,T/他	皮膚腫瘍科	A single-center retrospective analysis of prognoses in patients with melanoma brain metastases and effectiveness of treatment in Japan.	Cancer medicine・2023年12巻24号21933-21943 ページ	Original Article
146	Namikawa,K/Nakano,E/Ogata,D/他	皮膚腫瘍科	Long-term survival with systemic therapy in the last decade: Can melanoma be cured?.	The Journal of dermatology・2024年51巻3号343-352ページ	Review
147	Nakano,E/Ogata,D/Namikawa,K/他	皮膚腫瘍科	Merkel cell carcinoma: a review of clinical management with focus on Asian patients.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻8号673-679ページ	Review
148	Wada,S/Nakano,E/Nakajima,M/他	皮膚腫瘍科	Congenital dermatofibrosarcoma protuberans on the scalp enlarging and shrinking repeatedly.	The Journal of dermatology・2024年51巻6号e196-e197ページ	Letter
149	Nakayama,Y/Ogata,D/Wada,S/他	皮膚腫瘍科	Treatment of high tumor mutation burden metastatic extramammary Paget disease with an anti-PD-1 antibody.	The Journal of dermatology・2023年50巻11号e396-e397ページ	Letter

150	Watanabe,T/ Tobinai,K/W akabayashi,M /他	血液腫瘍科	R-CHOP treatment for patients with advanced follicular lymphoma: Over 15-year follow-up of JCOG0203.	British journal of haematology・2024年204巻3号849-860ページ	Original Article
151	Makita,S/Ota ,S/Mishima,Y /他	血液腫瘍科	Japanese phase Ib study of the oral PI3K- δ and - γ inhibitor duvelisib in patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia or small lymphocytic lymphoma.	International journal of hematology・2024年119巻2号156-163ページ	Original Article
152	Izutsu,K/Ubu kawa,K/Mori shita,T/他	血液腫瘍科	Glasdegib with intensive/nonintensive chemotherapy in Japanese patients with untreated acute myeloid leukemia or high-risk myelodysplastic syndromes.	Cancer science・2024年115巻4号1250-1260ページ	Original Article
153	Munakata,W/ Ando,K/Yok oyama,M/他	血液腫瘍科	Long-term safety profile of tirabrutinib: final results of a Japanese Phase I study in patients with relapsed or refractory B-cell malignancies.	International journal of hematology・2023年117巻4号553-562ページ	Original Article
154	Munakata,W/ Izutsu,K/Mis hima,Y/他	血液腫瘍科	Dose-escalation part of Phase I study of single-agent mosunetuzumab in Japanese patients with relapsed/refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻10号912-921ページ	Original Article
155	Izutsu,K/Ku mode,T/Yuda ,J/他	血液腫瘍科	Subcutaneous epcoritamab monotherapy in Japanese adults with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma.	Cancer science・2023年114巻12号4643-4653ページ	Original Article

156	Izutsu,K/Ya mamoto,K/K ato,K/他	血液腫瘍科	Measurable residual disease in Japanese patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia treated with venetoclax.	International journal of hematology・2023年118巻 4号526-528ページ	Letter
157	Kubo,T/Sone ,M/Sugawara, S/他	小児腫瘍科	Technical Feasibility and Safety of Central Venous Ports for Intravenous Chemotherapy in Infants With Retinoblastoma: A Retrospective Study.	Cureus・2024年16巻1号 e52231ページ	Original Article
158	Sugiyama,M/ Arakawa,A/S hirakawa,N/ 他	小児腫瘍科	Safety and efficacy of multiple tyrosine kinase inhibitors in pediatric/adolescent and young adult patients with relapsed or refractory osteosarcomas: A single- institution retrospective analysis.	Pediatric blood & cancer・ 2023年70巻7号e30360 ページ	Original Article
159	Tao,K/Yamaz aki,F/Kubo,T /他	小児腫瘍科	Pediatric Precision Medicine at the National Cancer Center Japan: Prospective Genomic Study of Pediatric Patients with Cancer as Part of the TOP-GEAR Project.	JCO precision oncology・ 2023年7巻e2200266ペー ジ	Original Article
160	Tao,K/Inamo to,Y/Furuka wa,H/他	小児腫瘍科	Romidepsin-induced durable remission for relapsed nodal peripheral T-cell lymphoma with T follicular helper phenotype after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	International journal of hematology・2023年118巻 2号292-298ページ	Case report
161	Tanimura,K/ Nakajima,M/ Shirakawa,N/ 他	小児腫瘍科	Surgical site infection caused by Rhizopus caespitosus after metastasectomy for osteosarcoma: First report of infection in humans.	Pediatric blood & cancer・ 2023年70巻4号e30049 ページ	Case report

162	Miyazaki,B/U eno,T/Sugiya ma,M/他	小児腫瘍科	Promoter swapping of truncated PDGFRB drives Ph-like acute lymphoblastic leukemia.	NPJ precision oncology・ 2023年7巻1号132ページ	Case report
163	Arakawa,A/T ao,K/Kohno, T/他	小児腫瘍科	Cross-individual cancer transmission to children during the gestational and perinatal periods.	Cancer science・2024年 115巻4号1039-1047ペー ジ	Review
164	Sugiyama,M/ Arakawa,A/K ogure,Y/他	小児腫瘍科	Different phenotype relapse of myeloid/lymphoid neoplasms with FGFR1 rearrangement with long remission.	Pediatric blood & cancer・ 2024年71巻1号e30721 ページ	Letter
165	Shoji,M/Yam ashita,Y/Ishii ,M/他	総合内科	A Predictive Model for Cancer-Associated Thrombosis in Japanese Cancer Patients: Findings from the J-Khorana Registry.	TH open・2024年8巻1号 e9-e18ページ	Original Article
166	Matsumi,J/Sa to,T	麻酔・集中治療科	Protective effect of propofol compared with sevoflurane on liver function after hepatectomy with Pringle maneuver: A randomized clinical trial.	PloS one・2023年18巻8号 e0290327ページ	Original Article
167	Shioji,N/Sumi e,M/Englesak is,M/他	麻酔・集中治療科	Multisystem inflammatory syndrome in children: an Umbrella review.	Journal of anesthesia・2024 年38巻3号309-320ページ	Review

168	Kadono,T/Ishiki,H/Yokomichi,N/他	緩和医療科	Malignancy-related ascites in palliative care units: prognostic factor analysis.	BMJ supportive & palliative care・2024年13巻e3号e1292-e1299ページ	Original Article
169	Takamizawa,S/Ishiki,H/Oyamada,S/他	緩和医療科	Psychological symptom burden associated with malignant wounds: Secondary analysis of a prospective cohort study.	Palliative & supportive care・2024年22巻2号396-403ページ	Original Article
170	Amano,K/Okamura,S/Baracos,V/他	緩和医療科	Fluid retention and weight loss in refractory cancer cachexia.	BMJ supportive & palliative care・2024年spcare-2024-004820ページ	Original Article
171	Satomi,E/Kobayashi,T/Ishikawa,A/他	緩和医療科	Investigating the efficacy and safety of olanzapine prophylaxis for opioid-induced nausea and vomiting (JORTC-PAL20): a study protocol for an open-label, single-arm exploratory study.	BMJ open・2024年14巻2号e076575ページ	Original Article
172	Amano,K/Koshimoto,S/Arakawa,S/他	緩和医療科	Factors associated with multimodal care practices for cancer cachexia among registered dietitians.	Supportive care in cancer・2024年32巻4号213ページ	Original Article
173	Amano,K/Arakawa,S/Hopkinson,JB/他	緩和医療科	Factors Associated With Practice of Multimodal Care for Cancer Cachexia Among Physicians and Nurses Engaging in Cancer Care.	JCO oncology practice・2023年19巻8号602-609ページ	Original Article

174	Amano,K/Baracos,V/Okamura,S/他	緩和医療科	Low serum creatinine as a prognostic marker in advanced cancer.	BMJ supportive & palliative care・2023年 spcare-2023-004646ページ	Original Article
175	Takeda,Y/Ishiki,H/Oyama da,S/他	緩和医療科	Symptoms and Prognoses of Patients With Breast Cancer and Malignant Wounds in Palliative Care Units: The Multicenter, Prospective, Observational EASED Study.	The American journal of hospice & palliative care・2023年 10499091231219800ページ	Original Article
176	Toda,Y/Ishiki,H/Machida,T/他	緩和医療科	Pain, Analgesic Use, and Patient Satisfaction With Spinal Versus General Anesthesia for Hip Fracture Surgery.	Annals of internal medicine・2023年176巻1号 eL220366ページ	Letter
177	Hirayama,T/Ishiki,H/Yanai,Y/他	精神腫瘍科	Feasibility of an Electronic Patient-Reported Outcome Tool for Screening Distress and Supportive Care Needs of Adolescents and Young Adults with Cancer.	Journal of adolescent and young adult oncology・2024年13巻1号138-146 ページ	Original Article
178	Hirayama,T/Kojima,R/Udagawa,R/他	精神腫瘍科	Preliminary Effectiveness of an In-Hospital Peer Support Program, Adolescent and Young Adult Hiroba, on Anxiety in Adolescent and Young Adult Patients with Cancer.	Journal of adolescent and young adult oncology・2024年13巻1号224-232 ページ	Original Article
179	Hirayama,T/Igarashi,E/Wada,S/他	精神腫瘍科	Concomitant use of hydroxyzine and haloperidol did not worsen delirium in patients with cancer: A multicenter, retrospective, observational study.	Palliative & supportive care・2024年45299ページ	Original Article

180	Matsuoka,H/ Tsurutani,J/ Chiba,Y/他	精神腫瘍科	Morphine Versus Oxycodone for Cancer Pain Using a Catechol-O-methyltransferase Genotype Biomarker: A Multicenter, Randomized, Open-Label, Phase III Clinical Trial (RELIEF Study).	The oncologist・2023年28巻3号278-e166ページ	Original Article
181	Sadahiro,R/M atsuoka,LN/ Zeng,BS/他	精神腫瘍科	Black cohosh extracts in women with menopausal symptoms: an updated pairwise meta-analysis.	Menopause (New York, N.Y.)・2023年30巻7号766-773ページ	Original Article
182	Sadahiro,R/H atta,K/Yama guchi,T/他	精神腫瘍科	A multi-centre, double-blind, randomized, placebo-controlled trial to evaluate the effectiveness and safety of ramelteon for the prevention of postoperative delirium in elderly cancer patients: a study protocol for JORTC-PON2/J-SUPPORT2103/NCCH2103.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻9号851-857ページ	Original Article
183	Sri- Iesaranusorn, P/Sadahiro,R /Murakami,S /他	精神腫瘍科	Data-driven categorization of postoperative delirium symptoms using unsupervised machine learning.	Frontiers in psychiatry・2023年14巻1205605ページ	Original Article
184	Hirayama,T/ Ogawa,Y/Ya nai,Y/他	精神腫瘍科	Feasibility and Preliminary Effectiveness of Behavioral Activation for Patients with Cancer and Depression in Japan.	Palliative medicine reports・2023年4巻1号150-160ページ	Original Article
185	Yamaguchi,J/ Hirayama,T/ Sadahiro,R/ 他	精神腫瘍科	Delirium due to Trousseau syndrome treated with memantine and perospirone: A case report.	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports・2023年2巻4号e159ページ	Case report

186	Hirayama,T/ Ogawa,Y/Ogawa,A/他	精神腫瘍科	Behavioral activation for depression in patients with advanced cancer: study protocol for a multicenter randomized controlled trial.	BMC cancer・2023年23巻1号427ページ	Others
187	Sugawara,H/ Kikkawa,N/It o,K/他	放射線診断科	Is 18F-fluorodeoxyglucose PET recommended for small lung nodules? CT findings of 18F-fluorodeoxyglucose non-avid lung cancer.	The British journal of radiology・2024年97巻1154号462-468ページ	Original Article
188	Sone,M/Yasu naga,H/Osaw a,M/他	放射線診断科	Impact of Work Environment on Job Satisfaction among Interventional Radiologists in Japan: A Cross-sectional Study.	Interventional radiology (Higashimatsuyama-shi (Japan))・2024年9巻1号13-19ページ	Original Article
189	Itou,C/Arai, Y/Sone,M/他	放射線診断科	Percutaneous Image-Guided Transesophageal Long Intestinal Tube Placement for Palliative Decompression in Advanced Cancer Patients with Unresectable Malignant Small Bowel Obstruction.	Cardiovascular and interventional radiology・2023年46巻8号1000-1012ページ	Original Article
190	Sugawara,S/S one,M/Sakam oto,N/他	放射線診断科	Guidelines for Central Venous Port Placement and Management (Abridged Translation of the Japanese Version).	Interventional radiology (Higashimatsuyama-shi (Japan))・2023年8巻2号105-117ページ	Original Article
191	Ozawa,M/So ne,M/Sugawa ra,S/他	放射線診断科	Necessity of Prophylactic Anticoagulation Therapy Following Inferior Vena Cava Stent Placement in Patients with Cancer.	Interventional radiology (Higashimatsuyama-shi (Japan))・2023年8巻2号70-74ページ	Original Article

192	Ozawa,M/So ne,M/Sugawa ra,S/他	放射線診断科	Artificial Pneumothorax Using the Liver-Directed Approach and Seldinger's Technique: Technical Feasibility and Safety.	Cureus・2023年15巻7号 e41423ページ	Original Article
193	Sakuramachi, M/Murakami, N/Nagao,A/ 他	放射線治療科	Hydrogel spacer injection to the meso-sigmoid to protect the sigmoid colon in cervical cancer brachytherapy: A technical report.	Journal of contemporary brachytherapy・2023年15 巻6号465-469ページ	Original Article
194	Kashihara,T/ Mori,T/Nakai chi,T/他	放射線治療科	Correlation between L- amino acid transporter 1 expression and 4-borono- 2-(18) F-fluoro- phenylalanine accumulation in humans.	Cancer medicine・2023年 12巻21号20564-20572 ページ	Original Article
195	Igaki,H/Naka mura,S/Yama zaki,N/他	放射線治療科	Acral cutaneous malignant melanoma treated with linear accelerator-based boron neutron capture therapy system: a case report of first patient.	Frontiers in oncology・ 2023年13巻1272507ペー ジ	Case report
196	Nagao,A/Oka moto,H/Naka yama,H/他	放射線治療科	Assessment of intrafractional motion of the cervix-uterus by MR- guided radiotherapy system†.	Journal of radiation research・2023年64巻6号 967-972ページ	Others
197	Nakaichi,T/O kamoto,H/Ko n,M/他	放射線治療科	Commissioning and performance evaluation of commercially available mobile imager for image guided total body irradiation.	Journal of applied clinical medical physics・2023年24 巻4号e13865ページ	Original Article

198	Sunami,K/Naito,Y/Saigusa,Y/他	臨床検査科	A Learning Program for Treatment Recommendations by Molecular Tumor Boards and Artificial Intelligence.	JAMA oncology・2024年10巻1号95-102ページ	Original Article
199	Matsui,H/Hirata,M	臨床検査科	Evaluation of the pathogenic potential of germline DDX41 variants in hematopoietic neoplasms using the ACMG/AMP guidelines.	International journal of hematology・2024年119巻5号552-563ページ	Original Article
200	Oda,S/Ushima,M/Nakamura,W/他	臨床検査科	A complex rearrangement between APC and TP63 associated with familial adenomatous polyposis identified by multimodal genomic analysis: a case report.	Frontiers in oncology・2023年13巻1205847ページ	Case report
201	Tsubokura,M/Kojima,M/Nakabayashi,S/他	臨床検査科	EDTA-induced pseudothrombocytopenia in hematopoietic stem cell donor.	Clinical case reports・2023年11巻4号e7023ページ	Case report
202	Katsuya,Y/Yoshida,T/Takashima,A/他	先端医療科	Immunogenicity after vaccination of COVID-19 vaccines in patients with cancer: a prospective, single center, observational study.	International journal of clinical oncology・2024年29巻4号386-397ページ	Original Article
203	Takamizawa,S/Koyama,T/Sunami,K/他	先端医療科	Identification of barriers to implementation of precision oncology in patients with rare cancers.	Cancer science・2024年115巻6号2023-2035ページ	Original Article

204	Yamamoto,N /Koyama,T/S ato,J/他	先端医療科	Phase I study of the anti-TIGIT antibody tiragolumab in combination with atezolizumab in Japanese patients with advanced or metastatic solid tumors.	Cancer chemotherapy and pharmacology・2024年	Original Article
205	Yamamoto,N /Satouchi,M/ Doi,T/他	先端医療科	KEYNOTE-434 part B: A phase 1 study evaluating the combination of epacadostat, pembrolizumab, and chemotherapy in Japanese patients with previously untreated advanced non-small-cell lung cancer.	Investigational new drugs・2024年42巻3号261-271 ページ	Original Article
206	Yamamoto,N /Tolcher,A/ Hafez,N/他	先端医療科	Efficacy and Safety of the MDM2-p53 Antagonist Brigimadlin (BI 907828) in Patients with Advanced Biliary Tract Cancer: A Case Series.	OncoTargets and therapy・2024年17巻267-280ペー ジ	Original Article
207	Iwasa,S/Koya ma,T/Nishino ,M/他	先端医療科	First-in-human study of ONO-4578, an antagonist of prostaglandin E(2) receptor 4, alone and with nivolumab in solid tumors.	Cancer science・2023年 114巻1号211-220ペー ジ	Original Article
208	Shimizu,T/Na kagawa,K/Ha yashi,H/他	先端医療科	Oral formulation of bendamustine hydrochloride for patients with advanced solid tumors; a phase 1 study.	Investigational new drugs・2023年41巻1号45303ペー ジ	Original Article
209	Takamizawa,S /Katsuya,Y/ Chen,YN/他	先端医療科	Ocular toxicity of investigational anti-cancer drugs in early phase clinical trials.	Investigational new drugs・2023年41巻1号173-181 ページ	Original Article

210	Yamamoto,N /Koyama,T/S himizu,T/他	先端医療科	Phase I study of the VEGF/Ang-2 inhibitor BI 836880 alone or combined with the anti-programmed cell death protein-1 antibody ezabenlimab in Japanese patients with advanced solid tumors.	Cancer chemotherapy and pharmacology・2023年91巻6号469-480ページ	Original Article
211	Nishino,M/F ujimori,M/Ko yama,T/他	先端医療科	Prevalence of psychological distress, quality of life, and satisfaction among patients and family members following comprehensive genomic profiling testing: Protocol of the Quality of life for Cancer genomics and Advanced Therapeutics (Q-CAT) study.	PloS one・2023年18巻5号e0283968ページ	Original Article
212	Shimizu,T/Sa nds,J/Yoh,K/ 他	先端医療科	First-in-Human, Phase I Dose-Escalation and Dose-Expansion Study of Trophoblast Cell-Surface Antigen 2-Directed Antibody-Drug Conjugate Datopotamab Deruxtecán in Non-Small-Cell Lung Cancer: TROPION-PanTumor01.	Journal of clinical oncology・2023年41巻29号4678-4687ページ	Original Article
213	Koyama,T/Sh imizu,T/Koji ma,Y/他	先端医療科	Clinical Activity and Exploratory Resistance Mechanism of Milademetan, an MDM2 Inhibitor, in Intimal Sarcoma with MDM2 Amplification: An Open-Label Phase Ib/II Study.	Cancer discovery・2023年13巻8号1814-1825ページ	Original Article
214	Ida,H/Shimiz u,T/Nishino, M/他	先端医療科	Phase Ib/II Study of a Liposomal Formulation of Eribulin (E7389-LF) plus Nivolumab in Patients with Advanced Solid Tumors: Results from Phase Ib.	Cancer research communications・2023年3巻7号1189-1199ページ	Original Article
215	Katsuya,Y	先端医療科	Current and future trends in whole genome sequencing in cancer.	Cancer biology & medicine・2024年21巻1号16-20ページ	Review

216	Rikitake,R/M izushima,Y/Y oshimoto,S/ 他	希少がんセンター	Current status of head and neck sarcomas in Japan in 2016-2019: an analysis using the national cancer registry.	International journal of clinical oncology・2024年29巻5号564-570ページ	Original Article
217	Hijioka,S/Ya mashige,D/Es aki,M/他	希少がんセンター	Factors Affecting Nonfunctioning Small Pancreatic Neuroendocrine Neoplasms and Proposed New Treatment Strategies.	Clinical gastroenterology and hepatology・2024年S1542-3565(24)00351-3ページ	Original Article
218	Yoshida,A	希少がんセンター	NUT carcinoma and thoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumour: facts and controversies.	Histopathology・2024年84巻1号86-101ページ	Review
219	Tashiro,R/Ka wazoe,H/Ma mishin,K/他	薬剤部	Clinical and biomarker factors affecting survival in patients with platinum-sensitive relapsed ovarian cancer receiving olaparib monotherapy: a multicenter retrospective study.	Scientific reports・2023年13巻1号11962ページ	Original Article
220	Sumiyoshi,A/ Fujii,H/Oku ma,Y/他	薬剤部	Targeting microbiome, drug metabolism, and drug delivery in oncology.	Advanced drug delivery reviews・2023年199巻114902ページ	Review
221	Urikura,A/Mi yauchi,Y/Yos hida,T/他	放射線技術部	Patient Positioning Assistive Technology Applicable to the Existing Computed Tomography System: Estimation by Pixel Value of Scout Image.	Journal of computer assisted tomography・2024年48巻1号110-115ページ	Original Article

222	Urikura,A/Yoshida,T/Matsubara,K/他	放射線技術部	Number of computed tomography scanners and regional disparities based on population and medical resources in Japan.	Radiological physics and technology・2023年16巻3号355-365ページ	Original Article
223	Sato,S/Urikura,A/Mimatsu,M/他	放射線技術部	Physical characteristics of deep learning-based image processing software in computed tomography: a phantom study.	Physical and engineering sciences in medicine・2023年46巻4号1713-1721ページ	Original Article
224	Nakayama,H/Okamoto,H/Nakamura,S/他	放射線品質管理室	Film measurement and analytical approach for assessing treatment accuracy and latency in a magnetic resonance-guided radiotherapy system.	Journal of applied clinical medical physics・2023年24巻5号e13915ページ	Original Article
225	Okamoto,H/Murakami,N/Isohashi,F/他	放射線品質管理室	Plan quality association between dummy run and individual case review in a prospective multi-institutional clinical trial of postoperative cervical cancer patients treated with intensity-modulated radiotherapy: Japan clinical Oncology Group study (JCOG1402).	Radiotherapy and oncology・2023年183巻109630ページ	Original Article
226	Nakamura,S/Imamichi,S/Shimada,K/他	放射線品質管理室	Relative biological effectiveness for epithermal neutron beam contaminated with fast neutrons in the linear accelerator-based boron neutron capture therapy system coupled to a solid-state lithium target.	Journal of radiation research・2023年64巻4号661-667ページ	Original Article
227	Okamoto,H/Wakita,A/Tani,K/他	放射線品質管理室	Plan complexity metrics for head and neck VMAT competition plans.	Medical dosimetry・2024年S0958-3947(24)00009-8ページ	Original Article

228	Iwata,S/Kobayashi,O/Kurashima,K/他	感染症部	Findings from a discontinued clinical trial of favipiravir in high-risk patients with early-onset COVID-19.	Journal of infection and chemotherapy•2024年30巻3号219-227ページ	Original Article
229	Nakamura,W/Hirata,M/Oda,S/他	遺伝子診療部門	Assessing the efficacy of target adaptive sampling long-read sequencing through hereditary cancer patient genomes.	NPJ genomic medicine•2024年9巻1号11ページ	Original Article
230	Sekiguchi,M/Igarashi,A/Toyoshima,N/他	検診部門	Cost-effectiveness analysis of computer-aided detection systems for colonoscopy in Japan.	Digestive endoscopy•2023年35巻7号891-899ページ	Original Article
231	Sekiguchi,M/Matsuda,T/Saito,Y/他	検診部門	Treatment strategy and post-treatment management of colorectal neuroendocrine tumor.	DEN open•2024年4巻1号e254ページ	Review
232	Sasaki,K/Nomura,M/Kato,K/他	臨床研究支援部門	A phase III randomized controlled trial comparing local field with additional prophylactic irradiation in chemoradiotherapy for clinical-T1bN0M0 esophageal cancer: ARMADILLO trial (JCOG1904).	Japanese journal of clinical oncology•2024年54巻1号103-107ページ	Original Article
233	Kita,R/Yanagimoto,Y/Imazeki,H/他	臨床研究支援部門	Protocol digest of a randomized controlled adaptive Phase II/III trial of neoadjuvant chemotherapy for Japanese patients with oesophagogastric junction adenocarcinoma: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG2203 (NEO-JPEG).	Japanese journal of clinical oncology•2024年54巻2号206-211ページ	Original Article

234	Ando,Y/Shimoi,T/Sunami,K/他	臨床研究支援部門	Progress report of a cross-organ and biomarker-based basket-type clinical trial: BELIEVE Trial.	Cancer science・2024年115巻2号555-563ページ	Original Article
235	Nakamura,K/Takeda,K/Saito,AM/他	臨床研究支援部門	Transitional dynamics in oncology clinical trials: evaluating the impact of Clinical Trials Act on cooperative groups.	Japanese journal of clinical oncology・2024年hyae034ページ	Original Article
236	Kita,R/Matsuda,S/Nomura,M/他	臨床研究支援部門	Protocol digest of a randomized controlled Phase III study comparing surgery alone versus adjuvant nivolumab versus adjuvant S-1 for locally advanced oesophageal squamous cell carcinoma with no pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy followed by curative esophagectomy: Japan Clinical Oncology Group study JCOG2206 (SUNRISE Trial).	Japanese Journal of Clinical Oncology・2024年54巻2号212-216ページ	Original Article
237	Ishimaru,S/Shimoi,T/Sunami,K/他	臨床研究支援部門	Platform trial for off-label oncology drugs using comprehensive genomic profiling under the universal public healthcare system: the BELIEVE trial.	International journal of clinical oncology・2024年29巻2号89-95ページ	Original Article
238	Hashimoto,T/Otsu,S/Hironaka,S/他	臨床研究支援部門	Phase II biomarker identification study of anti-VEGF agents with FOLFIRI for pretreated metastatic colorectal cancer.	Future oncology (London, England)・2023年19巻23号1593-1600ページ	Original Article

239	Hashimoto,T /Tsukada,Y/I to,M/他	臨床研究支援部門	Utility of circulating tumour DNA for prognosis and prediction of therapeutic effect in locally recurrent rectal cancer: study protocol for a multi- institutional, prospective observational study (JCOG1801A1, CAP-LR study).	BMJ open・2023年13巻8号 e073217ページ	Original Article
240	Hashimoto,T /Maruyama,S /Takii,Y/他	臨床研究支援部門	A randomized phase II study comparing preoperative mFOLFOX6 versus FOLFOXIRI for locally advanced colon cancer: JCOG2006.	Future oncology (London, England)・2023年19巻28号 1897-1904ページ	Original Article
241	Okuma,HS/ Watanabe,K/ Tsuchihashi, K/他	臨床研究支援部門	Phase II Trial of Nivolumab in Metastatic Rare Cancer with dMMR or MSI-H and Relation with Immune Phenotypic Analysis (the ROCK Trial).	Clinical cancer research・ 2023年29巻24号5079- 5086ページ	Original Article
242	Hashimoto,T /Nakayama,I /Ohashi,M/ 他	臨床研究支援部門	Randomized phase II study comparing neoadjuvant 5- fluorouracil/oxaliplatin/do- cetaxel versus docetaxel/oxaliplatin/S-1 for patients with type 4 or large type 3 gastric cancer.	Future oncology (London, England)・2023年19巻32号 2147-2155ページ	Original Article
243	Hashimoto,T /Tsukamoto, S/Murofushi, K/他	臨床研究支援部門	Total neoadjuvant therapy followed by a watch-and- wait strategy for patients with rectal cancer (TOWARD): protocol for single-arm phase II/III confirmatory trial (JCOG2010).	BJs open・2023年7巻6号 zrad110ページ	Original Article

計 243 件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）；巻数：該当ページ」の形式で記載すること
 5 （出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
 記載例： Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ ・無
・ 手順書の主な内容 < 研究倫理審査委員会標準業務手順書 > ・ 委員会の運用規定 ・ 審査種別ごとの手順 など < 対象指針 > ・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 ・ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ ・無
・ 規定の主な内容 臨床研究を含む当センターの研究に携わる者のCOI管理手順は、COI管理規程及びCOI委員会運営規程に定められている。（現在、両規程の改訂作業を進行中であり、以下は現行規程の内容・条文に沿って記述する。なお、両規程の改訂作業はCOI管理等の手順や運用を改めるものではない。）	

1. 管理対象

管理対象については、COI管理規程第3条に定められており、臨床研究を行おうとする研究者が該当する。

2. 申告

研究者は、COI管理規程第4条により年一回の定期申告及びCOI状況の変動の都度申告を行う。

3. COI委員会

COI委員会は、COI管理規程第6条により、研究者より申告のあったCOIにつき、審査を行い、理事長に対し、意見等を述べるとともに、研究倫理審査委員会等各種倫理審査委員会委員長からの研究者のCOIの申告内容、審査結果等の開示請求があれば、これに応じることとされ、さらにCOI委員会運営規程第5条に基づき、COI委員会委員長は、研究倫理審査委員会委員長等より依頼された審査の結果については、依頼元である研究倫理審査委員会委員長等に報告することとより具体的に定められている。

4. 指導・管理

理事長は、COI委員会の意見に基づき、COIに関し、改善が必要と判断する場合、当該研究者に対し、当該研究への参加の取りやめまでも含む改善に向けた指導・管理を行う。

5. 臨床研究法対応

COI管理規定第5条により、臨床研究法施行規則第21条第2項（いわゆる「事実確認」）に関する事務権限を理事長から生命倫理部COI管理室に委譲している。

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況

年1回（合議）

※令和5年度書面審査件数
：医学系指針対象研究192
件（2366名）、医師主導治
験123件（2488名）

（注）前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容 2023年6月26日開催：一家綱邦「医学系指針改正の解説」 2023年7月12日開催：一家綱邦「倫理審査の要否の考え方」 2023年8月26日開催：一家綱邦、中田はる佳他「2023年度倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修」	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

○がん専門修練医

新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）、かつ、サブスペシャリティ領域専門医取得済み、もしくは取得見込みで、当院での研修により当該領域に特化した修練を目指す医師を対象とし、がんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門医を育成することを目的としている。研修年限は2年で、指導医のもとで高度の知識・技術の習得・開発、さらには臨床研究、トランスレーショナルリサーチ、基礎研究も実践する。各領域の将来のリーダーを目指す人材の育成を目的とした研修制度である。

○レジデント（3年コース・2年コース）

新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み、もしくは取得見込み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）で、当院での研修によりサブスペシャリティ専門医を目指す者を対象に複数診療科のローテーション研修、あるいは特定診療科の研修を通して、がんに関する幅広い知識と技術の習得を目指す。我が国を代表する指導医のもとでがん診療、がん研究に従事する。日本のがん医療を支える、すぐれたがん専門医を育成することを目的とした、国立がん研究センター教育・研修制度の中核となる研修制度である。2年コースについては研修開始時期が選択可能である。

○レジデント短期コース

がん医療の均てん化に貢献することを目的として、柔軟な研修開始時期、研修期間により研修者のニーズに幅広く対応することを目的とした研修制度である。研修時期は4月、7月、10月、1月から選択可能であり、研修期間は最短で6ヶ月、最長で1年6ヶ月までである。

○専攻医コース（基幹施設型・連携施設型）

新専門医制度のもと、当センターでの研修を希望される専門医の取得を目指す者を対象としたコースである。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	144.6人
-------------	--------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
成田 善孝	脳脊髄腫瘍科	科長	32 年	標榜診療科：脳神経外科
鈴木 茂伸	眼腫瘍科	科長	30 年	標榜診療科：眼科
吉本 世一	頭頸部外科	科長	32 年	標榜診療科：耳鼻咽喉科
加藤 健	頭頸部・食道内科	科長	29 年	標榜診療科：消化器内科
赤澤 聡	形成外科	科長	22 年	
首藤 昭彦	乳腺外科	科長	39 年	
米盛 勲	腫瘍内科	科長	25 年	標榜診療科：内科
渡邊 俊一	呼吸器外科	科長	33 年	
大江 裕一郎	呼吸器内科	科長	39 年	

大幸 宏幸	食道外科	科長	30 年	標榜診療科：消化器外科
吉川 貴己	胃外科	科長	36 年	標榜診療科：消化器外科
金光 幸秀	大腸外科	科長	33 年	標榜診療科：消化器外科
加藤 健	消化管内科	科長	29 年	標榜診療科：消化器内科
斎藤 豊	内視鏡科	科長	31 年	標榜診療科：消化器内科
江崎 稔	肝胆膵外科	科長	30 年	標榜診療科：消化器外科
奥坂 拓志	肝胆膵内科	科長	33 年	標榜診療科：消化器内科
松井 喜之	泌尿器・後腹膜腫瘍科	科長	28 年	標榜診療科：泌尿器科
石川 光也	婦人腫瘍科	科長	28 年	標榜診療科：婦人科
川井 章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	科長	37 年	標榜診療科：整形外科
山崎 直也	皮膚腫瘍科	科長	38 年	標榜診療科：皮膚科
伊豆津 宏二	血液腫瘍科	科長	30 年	標榜診療科：血液内科
福田 隆浩	造血幹細胞移植科	科長	34 年	標榜診療科：血液内科
小川 千登世	小児腫瘍科	科長	33 年	標榜診療科：小児科
上野 尚雄	歯科	医長	26 年	
佐藤 哲文	麻酔・集中治療科	科長	34 年	標榜診療科：麻酔科
里見 絵理子	緩和医療科	科長	29 年	標榜診療科：緩和ケア内科
松岡 弘道	精神腫瘍科	科長	22 年	標榜診療科：精神科
楠本 昌彦	放射線診断科	科長	38 年	標榜診療科：放射線科
井垣 浩	放射線治療科	科長	29 年	標榜診療科：放射線科
谷田部 恭	病理診断科	科長	33 年	標榜診療科：内科
山本 昇	先端医療科	科長	32 年	標榜診療科：内科
山本 昇	臨床研究支援部門	部門長	32 年	
平田 真	遺伝子診療部門	部門長	22 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

○薬剤師レジデント研修

研修の主な内容：がん薬物療法に関連する病院薬剤業務の基本的技術を修得するとともに、臨床および基礎の幅広い知識と技術の修得を図り、がん医療に精通した薬剤師を養成することを目的としている。研修期間は3年で、指導薬剤師のもとに薬剤業務や病棟業務に従事する。

研修の期間：3年間

研修の参加人数：13名（2024年3月31日の在籍者数）

○がん専門修練薬剤師研修

研修内容：国立がん研究センター薬剤師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、がん患者の薬学的管理介入や臨床薬学研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門薬剤師を育成することを目的としている。研修期間は2年で、指導薬剤師のもとで高度な知識・技術の習得・開発に努め、患者の臨床薬剤業務に従事する。

研修期間：2年間

研修の参加人数：1名（2024年3月31日の在籍者数）

○医学物理士レジデント研修

研修内容：放射線治療に必要な高度先進的な知識と技術を有する医学物理士の養成、また、チーム医療を実践する医学物理士を養成することも目的としている。研修期間は3年で分野毎に到達目標と教育プログラムの指針が定められている。また分野毎に、常勤

の認定医学物理士がレジデントの指導者となり計3施設で研修を行う。

研修期間：3年

研修の人数：4名(2024年3月31日の在籍者数)

○診療放射線技師レジデント研修

研修内容：より高度で専門的ながん教育を提供し、研究もできる、がん医療に精通した診療放射線技師を育成することを目的としている。研修期間は3年で、基本的なカリキュラムは両キャンパスにて共通項目として構成され、2年間を充当。両キャンパス交流研修を3か月間設定し、各キャンパスにのみ設置された医療機器の基礎技術を学ぶ機会も用意している。3年目は、専門性や進路を選択する期間と位置付けられ、各コースにおける特色を生かしたカリキュラムにて研修を行う。

研修期間：3年

研修の人数：4名(2024年3月31日の在籍者数)

○がん専門修練診療放射線技師研修

研修内容：国立がん研究センター診療放射線技師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、多彩なコース設定から応募者自身が選択した分野で2年間修練することでより高度な専門性を養い、グローバルで輝く、がん診療の核となり得る次世代の人材育成を行うことを目的としている。研修期間は2年で、指導診療放射線技師の下、より専門性の高い放射線診療業務や研究に従事する。

研修期間：2年

研修の人数：0名(2024年3月31日の在籍者数)

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
○研修の主な内容 ・任意研修制度・受託実習制度という研修制度があり、他の医療機関に所属する医療関係者の受け入れを行っている。対象は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士等であり、医学生や看護学生等の受け入れも行っている。 ○研修の期間・実施回数 ・研修機関：1日から1年間と幅広く設定し、延長(最長で1年)の可能である。 延長の更新回数については、制限を設けていない。 ○研修の参加人数 ・2023年度で新たに受け入れた医療従事者は13名(医師：113名、歯科医師：7名)である。 その他、学生等の受け入れを313名行った。

(注)1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 瀬戸 泰之	
管理担当者氏名	医療安全管理部：楠本 昌彦、高難度新規医療技術等管理室：松井 喜之、 薬剤部：橋本 浩伸、放射線技術部：谷崎 洋、臨床検査部：山崎 茂樹、 統括事務部：樋山 一郎、医事管理部：樋山 一郎、研究管理部：後澤 乃 扶子、人材育成センター：大江 裕一郎、臨床工学部門：入江 景子	

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事管理課	・診療に関する患者記録は全て（入院、外来問わず）一患者一ファイル方式で管理。 (1) 診療録等は永久保存 (2) 内視鏡フィルム、10年保存 (3) フィルム（内視鏡フィルム除く）、5年保存 (4) 病理、細胞診プレパレート、20年保存 ・診療録の院外への持ち出しについては、原則禁止。例外的に持ち出す際は、リスクレベル評価に応じたセキュリティ対策を講じる。
		各科診療日誌	医事管理課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事管理課	
		看護記録	医事管理課	
		検査所見記録	医事管理課	
		エックス線写真	放射線技術部	
		紹介状	医事管理課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事管理課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは台帳等により管理。
		高度の医療の提供の実績	医事管理課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究管理課	
		高度の医療の研修の実績	専門教育企画室	
		閲覧実績	総務課、医事管理課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事管理課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部、医事管理課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室 放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術等管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術等管理室
		監査委員会の設置状況	医療安全管理室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理室
		職員研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者が有する権限に関する状況	医療安全管理室
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医療安全管理室
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医療安全管理室
		・ 保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ☐ 2. 現状 ☒
閲覧責任者氏名	総務課長、医事管理課長
閲覧担当者氏名	文書管理係長、入院外来係長
閲覧の求めに応じる場所	総務部総務課、医事管理部医事管理課
閲覧の手続の概要 『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年12月5日法律第140号)』及び『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成14年6月5日政令第199号)』に基づき以下の当センター規定に則り閲覧を含む開示手続を行う。 ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手続規程(平成22年4月1日規程第49号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手数料規程(平成22年4月1日規程第48号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開審査基準(平成22年4月1日規程第50号) 具体的には、総務部総務課を情報公開窓口として、以下の手続を行う。 ①開示請求者より、法人文書開示請求書(規定様式)の提出と手数料の支払いが行われる。 ②①に不備がある場合は、補正依頼公文(規定様式)を送付する。 ③請求文書の特定と開示可否の審議を行い、審議結果に応じて、法人文書開示決定通知書又は法人文書不開示決定通知書を開示請求者に送付する。 ④請求の内容により、期限の延長又は事案の移送が必要な場合は、それぞれ規定に基づき通知公文を開示請求者に送付する。 ⑤③を受け、開示請求者が開示実施を希望する場合は、規定の実施方法等申出書を提出する。 ⑥⑤の実施方法等申出書及び開示実施に係る規定手数料を受け、文書の開示を実施する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1) 医療に係る安全管理のための基本的な考え方 2) 医療に係る安全管理のための組織及び委員会等に関する基本的事項 3) 医療に係る安全管理のための職員研修 4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策 5) 医療事故等の影響度分類レベル 3b 以上またはこれに準ずる重大な有害事象発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 13回 ・ 活動の主な内容： 医療安全管理室へ報告される全てのインシデント・アクシデント事例、有害事象例について、月1回医療安全管理部会で原因分析や再発防止対策、業務改善事項の検討をしている。その後、病院長が委員長である医療事故等防止対策委員会（月1回）に報告・承認後、決定事項を医療安全担当副院長から、リスクマネージャー会議（月1回）にてリスクマネージャーに伝達し、所属職員に周知徹底を図っている。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
・ 研修の内容（すべて）： ＜全職員研修：医療安全講演会＞ 第1回「当院におけるACPとDNARの基本方針（R5. 8. 14～）Web開催（eラーニング） 第2回「免疫チェックポイント阻害薬（ICI）～免疫関連副作用（irAE）の早期発見と重症化予防を目指して」（R5. 12. 7～）Web開催（eラーニング） * 年2回受講率 100%	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ） 医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、医療事故等防止安全管理規程を定め、医療事故等防止対策委員会、医療安全管理部会を設置。また、各診療科・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを配置している。インシデント・アクシデントが発生した場合は、電子カルテにログインして起動するインシデント報告分析支援システム（略称CLIP；有害事象報告を含む）を通じて、各部署より医療安全管理室に報告される体制。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー会議での説明・指示・伝達（月1回） インシデント防止目標の提示（隔月） 医療安全ニュースの発行（月1回） 職員全員参加の研修会の実施（年2回）	

医療安全ポケットマニュアル（約160頁からなり、全職員携行を義務付）の年1回の更新

○過去3年間の報告件数（インシデント・アクシデント）：

令和 5年度 5534件

令和 4年度 6223件

令和 3年度 6347件

○過去3年間の報告件数（診療関連重篤有害事象）：

令和 5年度 1099件

令和 4年度 1003件

令和 3年度 626件

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 感染対策の基本的考え方 2. 院内感染対策体制の整備 院内感染対策委員会、感染制御室、感染対策チーム、感染制御室長、院内感染管理者、感染制御室専任医師、抗菌薬適正使用支援チーム、抗菌薬適正使用支援者の設置について 3. 職員に対する研修に関する基本方針 4. 抗菌薬の適正な使用を目的とした職員に関する基本方針 5. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 7. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 8. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針 9. その他抗菌薬適正使用推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 1. 院内感染発生動向を監視し、効率的な院内感染対策が実施できるように、感染制御室及び感染対策チームの活動支援を行う。 2. 感染制御室、感染対策チームで検討した課題や提案された事項について審議、決定を行う。 3. 新型コロナウイルス感染症の対応について、定期的にマニュアルを改訂し、周知、指導する。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容（すべて）： <全職員研修> 「院内感染対策講演会」 第1回（令和5年5月29日）「いま、当院に求められる感染管理」 講師：感染制御室長 小林 治 先生 第2回（令和5年11月1日）「新型コロナウイルス感染症 5類移行後の感染対策」 講師：聖路加国際病院 QIセンター感染管理室 マネージャー 坂本 史衣 先生 延べ受講人数：1561名 受講率：第1回100% 第2回100%（インターネット視聴・DVD視聴を含む） <その他> 実技確認の機会として、「感染対策実技トレーニング」 合同実施10回、出張・個別実施55回	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） － 院内感染上重要な病原体の検出時には、微生物検査室から担当医とともに感染制御室に電話連絡され、患者の状態を把握後、当該部署に必要な対応について指示している。 － 病院長には週に2回、感染制御室長もしくは院内感染管理者が院内の状況を日報として報	

告し

ている。これらをまとめ毎月の感染対策委員会に報告している。

- アウトブレイクが疑われた場合は、速やかに調査・状況把握を開始し、必要に応じて臨時

院内

感染対策委員会を招集するとともに、全職員対象メールやリスクマネージャー・サブリスクマ

ネージャー会議を通じて院内全体に対応を周知する体制としている。

- 重大なアウトブレイク発生時などには、保健所など外部機関に報告・相談し、速やかな終

息お

よび再発防止を図る体制となっている。

- 新たな感染症発生時には、臨時委員会の開催や講演会を実施している

・ **その他の改善のための方策の主な内容：**

- 流行性ウイルス疾患について職員におけるワクチンポリシーを整備し、抗体検査結果およ

び

ワクチン接種状況を把握するとともに、抗体価が基準を満たさない職員に対するワクチン

接種

を推進している。

- インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンの職員接種を推進している。

- 感染症診療に関するコンサルテーション体制を整備するとともに、血液培養陽性例は全て

感染

症医が治療内容を確認し、必要に応じて介入している。

抗菌薬の使用状況を把握し適正使用を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容： － 医薬品副作用被害救済制度について － がん患者の血糖管理 知識編 － がん患者の血糖管理 薬剤編 － 術後疼痛管理について － 抗がん剤被曝防止の基礎知識について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (☒有・無) ・ 業務の主な内容： － 医薬品の適正な購入及び各種規制を遵守した適正な管理 － 病棟常備薬の適正な配置と保管・管理状況の把握および指導 － 外来及び入院患者の処方薬の調剤及び指導 － 外来及び入院患者への医薬品の使用 － 医薬品情報の収集・管理・提供 － 持参薬鑑別による情報収集と情報共有 － 他医療機関との医薬品使用に関する情報の共有と連携医薬品の安全使用に関する教育・研修の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： － 病棟薬剤師による各病棟への医薬品安全使用に関する情報周知の徹底 － 安全性速報（ブルー・イエローレター）の院内周知の徹底 － 薬剤部HP・コンテンツの改善 － 投与時に注意が必要な薬剤に対する注意喚起を目的とした一覧の作成及び院内周知 － 複数規格のある薬剤の規格の取り違え防止を目的とした表示名称の工夫 － 同種同効薬の採用に際し、安全使用を目的として力価・包装等の院内資料を作成し配布 － ハイリスク薬に対する注意喚起のため、定義と注意事項を周知 － 適応外使用、未承認薬使用の把握及び申請における管理 － 抗がん剤レジメン審査の管理 － 院外薬局との医薬品使用に関する情報共有と連携の実施 － 薬機法に基づく医薬品の副作用報告について院内に制度の周知を実施 － 全ての注射薬抗がん剤の調剤及び投与はCSTDを使用 － 術後疼痛管理チームを組織して医薬品の適正使用を推進	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置
(放射線技術部)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年186回
研修の主な内容： 新規医療機器設置後、定期点検後ならびにバージョンアップ後に 添付文書に基づく仕様方法、注意点、変更点、管理方法等について研修を実施	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 (☒・無) - 機器ごとの保守点検の主な内容： 職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告 機器メーカーによる保守・定期点検の計画・実施・報告の実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒・無) PMDAやメーカー、国立病院機構からの情報周知など - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： (無) - その他の改善のための方策の主な内容： 機器メーカーによる定期点検の実施、職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告 修理・事故原因報告に基づいた機器・ソフトの改修ならびにバージョンアップ 業務マニュアルの定期的な改訂 使用・運用マニュアルの定期的な改訂 定期的な勉強会の実施と自己研鑽の推奨 定期的なインシデント報告会、危険予知トレーニングによる医療機器の安全使用についての検討 医療安全管理室と連携し、関連職員（医師、看護師、看護助手）へのMRI磁場体験およびeラーニングの実施 放射線治療に至るまでの全体的な行程を理解する放射線治療行程研修を開催	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(臨床検査部門)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 41 回
・ 研修の主な内容： 新規検査機器導入時の院内研修、検査機器の保守点検・消耗品交換・不具合発生時の対応等に関するメーカー研修などを実施。入職者に対する伝達講習。 1) 新規医療機器の取り扱い説明 15回 2) 保守点検・消耗部品の交換 3回 3) 新規採用者における各装置の操作マニュアル、運用マニュアルによる研修 22回	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ISO 15189:2012規格に準じたメーカーによる定期点検計画の実施・作業報告書の保管 職員または業者による保守・日常点検、定期点検の実施および実施記録の保管	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) PMDA、メーカー、国立病院機構からの情報収集 2) 日常点検の実施 3) 定期点検の実施 4) 機器操作手順書の整備・改訂・周知 5) 日当直業務実施のためのトレーニング 6) 精度に関する精度管理委員会の定期開催	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(臨床工学室)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年133回
研修の主な内容： 人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器等の特定保守管理機器を中心に研修計画を立て、使用方法、管理方法、注意事項、不具合対応について実施。新規導入医療機器についても導入時、バージョンアップ後等必要に応じてもれなく実施。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) - 機器ごとの保守点検の主な内容： 除細動器、人工呼吸器、血液浄化装置、電気メス、シリンジ・輸液ポンプ、モニタ類等について、機器購入時に計画を立て、機器管理システムにて管理。設置場所職員、臨床工学技士またはメーカーによって日常点検、定期点検を実施。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無 - その他の改善のための方策の主な内容： PMDAやメーカー、医療安全管理室より情報を収集し、勉強会（説明会）の開催、使用マニュアル改訂、現場管理者へ通知、各会議等で周知して改善している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、医療安全担当副院長を任命済み。 医療安全管理室の室長であり、医療事故等防止対策委員会には副委員長として出席している。 また、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者から報告を受ける体制が構築されている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ （4名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品情報の収集・管理・提供は主として薬剤部医薬品情報管理室にて行っており、周知は定期的（月1回）な医薬品情報誌の発行、医薬品集の発行（年1回）、タイムリーなお知らせ文書の発行等を、印刷物・メール・イントラネット掲載等を利用して行っている。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 院内で使用する医薬品は薬剤部で一元管理する体制をとっており、医薬品の適応外使用については、薬事委員会（適応外使用小委員会）で審査・報告等を行い、病院長の許可を得て使用をしている。未承認医薬品の使用については、高難度新規医療技術等評価委員会（未承認薬使用小委員会）で審査・報告等を行なう体制としている。また、薬剤部では、未承認医薬品使用、適応外使用、禁忌の使用について、所定の手続きを行っていない処方例について、薬剤師が把握した情報を集約する体制としている。 ・担当者の指名の有無（☒・無） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部，職種 薬剤師）（所属：各診療科，職種 医師「各診療科長」） （所属：看護部，職種 看護師長）（所属：臨床検査科，職種 臨床検査技師長） （所属：放射線技術部，職種 診療放射線技師「技術部長」）（所属：輸血管理室，職種 医師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ ・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する	

規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 全死亡症例における最終治療に関する患者説明状況調査 全有害事象報告における当該事象に関する事前の患者説明状況調査 上記調査結果から対応が必要と判断した診療科に対し、改善指導の実施及び説明文書の新規作成と改訂依頼している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有 ・ 無
・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 : 診療情報管理係において、退院時要約を含む診療録等の確認・管理を行い、診療統計の一部の算出を行っている。 診療情報管理委員会において、診療録や入院診療計画書の監査を実施している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有 ・ 無
・ 所属職員 : 専従 (8) 名、専任 () 名、兼任 (7) 名 うち医師 : 専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (5) 名 うち薬剤師 : 専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名 うち看護師 : 専従 (4) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名 うち事務員 : 専従 (1) 名 うち診療情報管理士 : 専従 (1) 名 (注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容 : 1) 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査 (定期的な現場の巡回・点検、理解度の確認、マニュアルの遵守状況の点検) 2) 医療事故防止対策マニュアルの作成及び点検、見直し 3) 部門別に作成されているマニュアルの確認及び見直しの提言 4) インシデント・アクシデント・有害事象報告 (インシデント・アクシデント・有害事象事例を体験した医療従事者が、その概要を記載した文書をいう。以下同じ)の収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価(改善策の周知確認) 5) 医療安全管理に関する最新情報の把握と職員への周知(他施設における事故事例の把握等) 6) 医療安全に関する職員への啓発、広報(月間行事の実施など) 7) 医療安全に関する教育研修の企画・運営、教育研修の理解度確認 8) 医療安全管理に係る連絡調整 ※モニタリング実施状況 :	

医療安全管理指標として11項目（「インシデント・アクシデント報告件数」「有害事象報告件数」「インシデント・アクシデント同事例報告割合」「インシデント・アクシデントレベル別割合」「インシデント・アクシデント・有害事象職種別件数」「インシデント・アクシデント表題別件数」「患者誤認事例件数」「術後30日以内死亡患者数」「がん薬物療法後30日以内死亡患者数」「放射線診断・病理診断レポート未開封割合」「抗がん薬血管外漏出割合」）についてモニタリングしている。

医療安全ポケットマニュアルの携帯状況、インシデント・アクシデント・有害事象の報告方法や緊急報告が必要な対象の確認、医療事故防止対策マニュアルの所在や内容の確認、医療安全ニュースやリスクマネージャー会議の周知内容、アレルギーアイコンとアレルギー薬剤の確認方法、文書提供時の患者確認方法、緊急コールの音の確認、医療事故調査制度で報告すべき事案について、内部通報窓口と通報対象、有害事象報告基準（医師）、優先的に同席すべき説明同意の対象（看護師）、未承認薬と適応外使用薬の申請方法（薬剤師）等について、部署ラウンドで職員へ確認している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術等管理室（技術提供の適否を決定する部門）が高難度新規医療技術の導入申請を受け付け、部門内の関係者で確認し、高難度新規医療技術評価委員会に申請技術の導入適否に関して意見徴取を行う。その意見に基づき、高難度新規医療技術等管理室の室長が申請技術の導入可否を決定する。導入した技術については、申請診療科に実施前と実施後に報告を求め、当室が実施前（当院での実施症例数について説明、看護師を同席しているか等）と実施後複数回（手術記録・退院サマリの内容、有害事象が発生していないか等）モニタリングを実施し、適切な対応ができていない場合には指導している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有

無（ ☒ ・無 ）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する委員会の事務局業務及び委員会の検討結果の通知に対して承認・非承認を決定し病院長に報告する。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ ・無 ）

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 335 件（令和 5 年度）

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：

インシデント・アクシデント報告：令和 5 年度 5534 件

有害事象報告：令和 5 年度 1099 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

入院患者が死亡した場合は、医師が死亡日時、治療及び死亡前の状況、治療中及び最終治療日から 30 日以内に発生した死亡の有無を遅滞なく報告し、医療安全管理室で内容に問題がないか毎日カルテレビューしている。死亡症例については、医事管理課から医療安全管理室へ、1 週間毎に全死亡患者リストを報告する仕組みがある。死亡患者リストは、医療安全管理室で最終治療に関する説明・同意書の有無や診療内容の確認をし、病院長と複数の副院長によるカルテレビュー結果を医療安全管理室で確認し、再調査となった場合、診療科への確認と医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

重大事例については、医療安全管理室での説明・同意書の有無や診療内容を確認し、必要時は診療科に診療経過報告書を提出してもらった上で、医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

医療事故等防止対策委員会にて承認された対策は、医療安全担当副院長からリスクマネージャー会議にて伝達し、職員に周知徹底を図る体制となっている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り（ ☒ （病院名：自治医科大学附属病院 ） ・無）

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ ☒ （病院名：自治医科大学附属病院 ） ・無）

・ 技術的助言の実施状況

【助言の詳細】

○医薬品等の安全使用体制の状況：処方処方の妥当性チェック体制として、処方箋発行前段階でのシステムを用いた処方鑑査の強化についてご検討ください。

○高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況：従来は、申請された医療技術を包括的に審査していたとのこと。しかし、それでは、術前カンファレンスの内容や患者さんへの説明状況、同意取得の状況を術前に確認できないので、今後は、症例ごとに事前に審査を行い、承認後に当該医療技術の実施を許可するとのことですので、その審査方法の体制確立と実施をお願いします。

審査体制として、高難度新規医療技術等評価委員会の委員長を病院長が務められておりますが、症例ごとの審査に病院長が関与するのは望ましくないと考えます。高難度新規医療技術評価委員会（貴院では小委員会との名称のようですが）での評価結果を審査部門（貴院では高難度新規医療技術等管理室との名称のようですが）に報告し、審査部門が決定した実施の可否を診療科に回答するとともに、病院長に報告する体制が望ましいと考えます。

【実施状況】

○薬剤師の目だけによっている処方箋の監査体制について、システムを導入することにより、強化された監査体制の構築を検討する。

○厚生労働省の通知においても、最初の症例を実施する際に申請書を提出する必要があるとしているため、初回は適応患者が決まってからの申請を徹底する。2例目以降の審査は必須とはされていないが、説明時に医療者同席者がいたかなど、実施する前に確認すべき事項もあるため、モニタリングする症例数については適応患者が決定したときに部門へ連絡するような文化を定着させていく。

症例ごとの評価が必要なもの、緊急を要するものについては小委員会が担っており、それ以外のものについては親委員会である高難度新規医療技術等評価委員会が審査をしている。そのため、当院では委員会が厚生労働省の通知でいう高難度新規医療技術評価委員会の役割を実質的に担っていることになる。

基本的に高難度新規医療技術は症例ごとの評価が必要であるため、専ら高難度新規医療技術の審査機関として機能しているのは小委員会であり、現状は高難度新規医療技術等評価委員会が審査期間としては形骸化しているため、体制や名称変更を含め、根本的な見直しを計画している。

・体制の確保状況

安全管理に係る相談窓口として、相談支援センターを設置している。

患者へは院内ポスター提示、リーフレット設置等により周知している。その後、相談支援センターから患者医療対話推進室へ対応依頼される仕組みがある。患者医療対話推進室では、相談支援センターや病棟等から相談等を受けた後、関係部署から事実関係等を聴取の上、対応している。

医療安全管理上の問題は、医療安全管理室へ情報共有され連携して改善策を立て対応している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

外部監査委員会での指摘事項と是正内容、報告書管理体制加算の施設基準、特定機能病院承認要件（内部通報窓口や外部監査委員会の設置、高難度新規医療技術等の導入プロセス等）について、令和5年度第1回医療安全講演会で全職員へ周知した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「2023年度 特定機能病院管理者研修（継続 第4回・6時間）」2024年1月26日

医療安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「2023年度 特定機能病院管理者研修（継続 第6回・6時間）」2024年2月26日

医薬品安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「2023年度 特定機能病院管理者研修（初回 第1回・13時間）」2023年12月4日

医療機器安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「2023年度 特定機能病院管理者研修（継続 第6回・6時間）」2024年2月26日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

病院機能評価（一般病院 3）3rdG:Ver. 3.0

受審日：2023 年 10 月 25 日～10 月 27 日

認定日：2024 年 5 月 10 日（条件付認定 6 ヶ月）

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

1. 規程に沿った説明文書の改訂をすみやかに完了させてください。
2. 臨床倫理委員会による倫理的課題の把握・検討および新たな倫理指針の作成を計画どおり確実に実施してください。
3. TQM センター運営会議の統括による、評価指標を活用した診療の質向上活動を計画どおり確実に実施してください。
4. 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等について、新たに定めた方法での患者説明とモニタリングを継続的に実践してください。
5. 鎮静に関する患者説明、全身状態監視の担当医師について、貴院が補充的な審査で提示した改善策を確実に実践してください。

公表については、病院機能評価の審査結果報告書を病院ホームページに掲載している。

・ 評価を踏まえ講じた措置

2024 年 10 月頃の改善審査に向けて、C 評価 5 項目について改善措置の実施に取り組んでいる。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

- (1) 病院において、以下のいずれかの業務に従事した経験を有し、医療安全管理に関する十分な知見を有するとともに、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有していること
 - ア 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務
 - イ 医療安全管理委員会の構成員としての業務
 - ウ 医療安全管理部門における業務
 - エ その他上記に準じる業務
- (2) 当該病院内外において組織管理経験があり、高度の医療の提供、開発及び評価等を行う特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有していること
- (3) 中央病院及び東病院の理念及び基本方針を十分に理解し、高い使命感を持って継続的かつ確実に職務を遂行する姿勢と指導力を有していること

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法：病院ホームページ

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ 有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（☒有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（☒有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（☒有・無） ・ 公表の方法：病院ホームページ				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
中釜 齊	国立がん研究センター	○	病院長選考規程第3条第2項第1号に基づく役職指定者	有・ ☒ 無
間野 博行	国立がん研究センター		医学・医療について豊富な経験と高い見識を有する者	有・ ☒ 無
北側 雄光	国立がん研究センター		医学分野の診療・経営等に豊富な経験と高い見識を有する者	有・ ☒ 無
尾崎 俊雄	国立がん研究センター		法人経営・医療業務の管理・運営に豊富な経験を有する者	有・ ☒ 無
國土 典宏	国立国際医療研究センター		国立研究開発法人の理事長であり、また、医学・医療（病院運営）に豊富な経験と高い見識を有する者	有・ ☒ 無
上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科		医学（特にがん研究）において豊富な経験と高い見識を有する者	有・ ☒ 無

**規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための
合議体の設置及び運営状況**

合議体の設置の有無	有・無		
・ 合議体の主要な審議内容 病院の運営の方針、中期計画、予算及び決算その他の病院の運営に関する重要な事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 病院運営会議の議事概要を作成し、病院全体に周知 内部サーバーへ掲載 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 病院ホームページ ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・無 ） 規程上、議長が必要と認める者（外部有職者を含む）を病院運営会議に参加させることができるとしている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
島田 和明	○	医師	病院長
尾崎 俊雄		事務	理事長特任補佐
藤元 博行		医師	副院長
山本 昇		医師	副院長
大江 裕一郎		医師	副院長
楠本 昌彦		医師	副院長
吉本 世一		医師	副院長
關本 翌子		看護師	看護部長
橋本 浩伸		薬剤師	薬剤部長
奥坂 拓志		医師	内科系部門長
金光 幸秀		医師	外科系部門長
小林 望		医師	検診センター長
土田 敬明		医師	広報企画室長
谷崎 洋		診療放射線技師	診療放射線技術部長
前澤 直樹		臨床検査技師	臨床検査技師長
曾我 将久		事務	統括事務部長
佐藤 俊幸		事務	財務経理部長
柳沢 直樹		事務	人事部長
梅野 喜和		事務	企画経営課長
大島 朗		事務	財務管理課長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有・☒無 ）
 - ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容無
 - 理事会規程：病院の運営に関する事項が審議される際には、病院長は理事会に出席し、意見を述べることができる。
 - 組 織 規 程：院長は、病院の事務を掌理する。また、特定機能病院としての機能を確保するために必要な事項に関して、理事長に意見を述べる旨規定。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - 組織規程：副院長は、院長を助け、病院の事務を整理する。
企画経営部を設置し、センターの業務の企画及び調整に関すること、センターの経営に関することの事務をつかさどる旨規定。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 中間管理職新任研修
 - ・ 薬学生実務実習対策研修
 - ・ 障害者雇用にかかる就労支援研修
 - ・ 診療放射線技師実習技能研修
 - ・ 認定看護管理者教育課程

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する
監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況				☒ 有 ・ ☐ 無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 医療の安全の確保を図るため、次に掲げる業務を実施している。 （１）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療事故等防止対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、その他監査委員会として必要と認めるものの業務の状況について病院長、その他監査委員会として必要と認めるものから報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施している。 （２）必要に応じ、理事長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行っている。 （３）（１）及び（２）に掲げる業務について、その結果を公表している。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 公表の方法：病院ホームページ					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山本 修一	地域医療機能推進機構 理事長 千葉大学大学院 医学研究院 眼科学前教授 千葉大学医学部 附属病院 前病院長	○	特定機能病院の前管理者であり、医療に係る安全管理に関する識見を有する	有 ・ ☒ 無	1
相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療安全担当副 院長／医療安全 管理部長		特定機能病院の医療安全管理部門に所属し、医療に係る安全管理に関する識見を有する	有 ・ ☒ 無	1
川崎 志保理	順天堂大学医学部 心臓血管外科 学・病院管理学 客員准教授		特定機能病院の医療安全管理部門で従事した経験があり、医療に係る安全管理に関する識見を有する	有 ・ ☒ 無	1
田島 優子	さわやか法律事務所 弁護士		弁護士として政府の諮問機関等医療問題に関わっており、医療	有 ・ ☒ 無	1

			に係る法律に関する識見を有する		
桜井 なおみ	一般社団法人 CSR プロジェクト 代表理事		患者団体の代表者であり、医療を受ける者として、医療安全管理について識見を有する	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が
法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
 - ・理事会への監事出席
 - ・監査室による監査
 - ・会計監査人による監査
 - ・コンプライアンス室の設置
 - ・法令違反行為等に関する通報又は相談の受付窓口を内部・外部に設置

- ・専門部署の設置の有無（ ☒ ・無 ）
- ・内部規程の整備の有無（ ☒ ・無 ）
- ・内部規程の公表の有無（ 有 ・ ☒ ）
- ・公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による
業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
 - ・ 理事会、執行役員会及び内部統制推進委員会・リスク管理委員会の整備、開催。
 - ・ 病院長はこれらの理事会等に出席。

- ・ 会議体の実施状況（ 年 12 回 ）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有 ・ 無 ）（ 年 12 回 ）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ ☒ 無 ）
- ・ 公表の方法

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に
疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 通報件数（年 0 件）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 周知の方法：職員研修（新採用オリエンテーション）、医療安全ポケットマニュアル掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ● 提供している医療や治験実施状況、研究成果や新たな取り組み等について、最新情報を随時ホームページで公開している。 ● 動画やSNSも積極的に活用し、科学的根拠に基づく診断・治療・療養について広く情報提供を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ● 主たる悪性腫瘍に対して内科・外科間の多職種カンファレンスの実施 ● 特化した治療（放射線治療、放射線診断、内視鏡センター、通院治療センター、患者サポートセンター等）と各診療科の連携 ● 転移がん、希少がん等の診療科間における協力が必要な場合の連携 ● 特殊外来（家族・遺族ケア外来、禁煙外来、遺伝相談外来）の設置 ● 多職種による医療チーム（褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、呼吸ケアチーム、術後疼痛管理チーム、認知症ケアチーム、感染制御チーム、医療安全管理チーム）の配置	